

令和4（2022）年度  
中部環境パートナーシップオフィス運営業務  
年間報告書

2023年3月

中部環境パートナーシップオフィス  
（運営受託：一般社団法人環境創造研究センター）



# 年間報告書

## 目次

業務概要	1
1 業務実施計画の作成	7
2 ESD/EPO 運営委員会の設置・開催	13
3 基本業務	19
(1) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務	19
(2) 相談対応・対話の場づくり等	21
(3) 施設の維持・管理	35
4 協働取組の促進のための業務	39
(1) 地元ネットワークを活用した協働取組の推進（地域循環共生圏フォーラムの開催）	39
(2) 協働コーディネーターと連携した実践的取組	41
(3) 活動主体へのフィードバック（活動見える化プログラムの活用）	48
(4) ローカル SDGs/地域循環共生圏のためのグループワーキング	55
5 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務	57
(1) 地域プラットフォームの環境整備支援等業務	57
(2) 中間共有会の開催	60
(3) 活動団体主催ステークホルダーミーティングの実施支援	62
(4) 環境省・GEOC が主催する関連会議等への参加	63
(5) 事業化支援団体の活動の情報共有	64
(6) 卒業団体のフォローアップ調査	64
(7) 森里川海生態系ネットワーク形成会合の開催	66
(8) 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業	70
(9) 地域循環共生圏に通じる担い手（団体等）の把握	77
6 中部地方 ESD 活動支援センター運営業務	79
(1) 中部地方 ESD 活動支援センターの運営・推進	79
(2) ESD 活動に関するネットワークの構築	80
(3) 全国センター及び地方センターとの連携	85
(4) ジオパーク等の活用（ESD ダイアログの開催）	87
(5) 域内外の多様な主体の連携促進、交流機会の提供	90
(6) 「(仮) 中部版 ESD ワークブック」（試行版）の作成	99
(7) 教育現場の実態把握と連携強化	102
(8) 地域循環共生圏への協力、全国センターとの連携協力	105
7 ESD/EPO の行事を通じた行動の変容の把握	107
(1) 代表的な行事後の行動変容の把握	107
(2) 地域循環共生圏及びローカル SDGs 実践状況等の評価	110
8 関係主体との連携及び協働に関する業務	117
(1) 中部地方環境事務所との情報共有及び意見交換	117
(2) 全国ネットワークの活用及び連携の確保・強化	126
9 外部資金を活用した事業	129
10 今後に向けて	141



# 業務概要

---

## (ア) 業務の目的

持続可能な社会を構築する上で、国民、民間団体等が行う環境保全活動並びにその促進のための環境保全の意欲の増進及び環境教育が重要であることに加え、これらの取組を効果的に進める上で協働取組が重要となる。

「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」（以下「環境教育等促進法」という。）第19条において、「国は、国民、民間団体等が行う環境保全等を効果的に推進するため、情報提供や助言、交流機会の提供等を行う拠点としての機能を担う体制の整備に努めること」とされており、同法第7条で定める国の方針（以下「促進法基本方針」という。）により、環境省においては、協働取組を構築・促進するための中核的な担い手として「環境パートナーシップオフィス（以下「EPO」という。）」を全国に設置し、事業を実施しているところである。

本業務は、中部地方 EPO が環境教育等促進法の規定する国の役割を果たすため、また地方 ESD 活動支援センター（以下「地方 ESD センター」という。）が国内実施計画等を踏まえた役割を果たすため、全国の EPO と地球環境パートナーシッププラザ（以下「GEOC」という。）のネットワーク（以下「EPO ネットワーク」という。）を活用するとともに、中部地方の事情を踏まえて各種事業等を企画し、それを実施することにより、市民、NPO/NGO、行政、企業等、社会を構成する様々な主体による協働・連携の取組を広げ、効果的・効率的に環境保全活動、多種多様な環境施策への協力及び ESD 活動等を活性化させることを目的に実施した。

また、「第5次環境基本計画」（平成30年4月閣議決定）において提唱された、環境・経済・社会の統合的向上を図る「地域循環共生圏」の考え方及び「地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する脱炭素」をキーメッセージとして発信している「地域脱炭素ロードマップ」（令和3年6月国・地方脱炭素実現会議決定）の考えに基づき、各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合う取組を推進し、持続可能な地域づくりを通じて、環境で地方を元気にしていくとともに、持続可能な社会を構築するための創造に取り組むことを目的に、本業務を展開した。

## (イ) 業務の内容

様々な主体による協働・連携の取組を通じた環境保全活動等を活性化するため、市民、NPO/NGO、行政、企業、金融機関等との連携を確保しながら、①環境教育等促進法の拠点としての推進、②環境教育・SDGs/ESD の推進、③地域循環共生圏の創造の推進について、各種業務を行った。また、これらの活動状況等について、Web 等を通じて広く発信した。

## (ウ) 実施業務

### (1) 業務実施計画（案）の作成

- ・事業計画・業務実施計画の作成・公表
- ・定量的な達成目標設定（インプット・アウトプット）の設定

### (2) 運営協議会等の設置・開催

- ・「ESD/EPO 運営会議」の設置・開催（オンライン、2回程度）
- ・委員委嘱手続、連絡調整、会場手配・設営、当日の進行、議事録作成、旅費及び謝金の支払い等の事務手続

### (3) 基本業務

#### ①情報の収集・蓄積・発信に関する業務

- ア. ホームページの更新及び維持管理（月2回程度）
- イ. 収集・整理・蓄積した情報の発信（月1回程度）
- ウ. リーフレット等を活用した情報発信、リーフレットの必要部数の増刷（A4フルカラー）

#### ②相談対応・対話の場作り等

- ア. 照会・相談対応、対応状況・内容の記録作成（様式自由）
- イ. 対話の体制の構築（管内7県×年2回程度）
- ウ. 定例報告（業務日報、施設の運営・利用状況、相談対応票、EPO 中部が関わる審議会・委員会・検討会・会議等一覧（他の団体が主体のもの）等の翌月当初報告）

#### ③施設の維持・管理

### (4) 協働取組の促進のための業務

#### ①地元ネットワークを活用した協働取組の推進（フォーラム開催：1回、3時間、30名程度、必要に応じオンライン）

#### ②遠隔地（北陸・信越）の協働コーディネーターと連携した実践的取組（1事例）の実施（北陸又は信越地域を対象、2回程度、各2時間程度、30名程度、必要に応じオンライン）

#### ③活動主体へのフィードバック（「活動見える化プログラム」の活用、2事例）

#### ④ローカルSDGs／地域循環共生圏のためのグループワーキング（1回、3時間程度、20名程度、講師1名（大学教授級）、必要に応じオンライン）

### (5) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

#### ①地域プラットフォームの環境整備支援等業務

- ・伴走支援（月1回以上の採択団体との連絡）、地域循環共生圏づくりに資する情報提供等
- ・年度当初に活動（新規採択）団体の事業目標及び年間計画などについてヒアリング、及びヒアリング結果と支援計画等のGEOCへの提出
- ・活動団体採択にかかわる意見照会への対応、制度設計への助言

#### ②中間共有会の開催（1回程度、3時間程度、管区内（ブロック）別、10月～11月開催）

#### ③地域循環共生圏プラットフォームステークホルダーミーティング等業務

- ・各活動（採択）団体が行うステークホルダーミーティングの後方支援

#### ④GEOCが主催する会議等への参加

- ・GEOC主催キックオフミーティング（1回、都内、2日程度、6月）
- ・作業部会（2回程度、1回当たり3時間程度、都内）
- ・共有会（1回、3時間程度、オンライン）
- ・共生圏PF事業形成会議（1回、3時間程度、オンライン）
- ・成果共有会及びネットワーキングイベント（1回、都内、2日程度、3月）

#### ⑤事業化支援団体の活動の情報共有（事業化支援の進捗状況の把握、制度設計への助言）

#### ⑥卒業団体のフォローアップ調査

- ・卒業団体のオンラインヒアリングの実施（1件程度）とGEOCへの報告

#### ⑦森里川海生態系ネットワーク形成会合の開催

- ・自治体、企業、金融機関などを巻き込んだ情報交換会の実施（年2回、30名程度の会合）

#### ⑧地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

- ア. 情報交換会やワークショップ等の開催のための支援及び開催運営業務（4回程度）
- イ. GEOCによるヒアリング、情報提供への対応

#### ⑨地域循環共生圏に通じる担い手（団体等）に対する地域循環共生圏の情報提供、関係性構築

(6) 地方 ESD 活動支援センター業務

- ①中部 ESD センターの運営・推進（第 6 期「中部地域 ESD 推進計画」に基づいた施策展開）
- ②ESD 活動に関するネットワークの構築
  - ア. ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催（1 回程度）
    - ・フォーラム（地域 ESD 拠点や ESD 実践者等を交えた意見交換）の開催（1 回程度）
    - ・ポスターの制作、及び主たるステークホルダーへの送付
  - イ. SDGs 学生サミットの開催（オンライン併設、1 回、半日程度、20 名程度、講師（大学教授級 1 名程度想定））
  - ウ. 地域 ESD 拠点等の ESD 活動の支援
    - ・地域 ESD 拠点等との間で情報共有やイベント協力等の連携、ESD 活動の支援
    - ・地域 ESD 拠点の登録手続における全国センターへの情報提供等
- ③全国 ESD センター及び地方 ESD 活動支援センターとの連携
  - ・地域 ESD 拠点への年次アンケートの実施支援、全国センターへの情報提供や資料作成・提供、会議出席等
  - ・企画運営委員会（オンライン、2 回程度、各半日）出席及び資料提供等
  - ・全国・地方連絡会（オンライン、2 回程度、各半日）出席及び資料提供等
  - ・ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（オンライン、1 回、1 日）出席及び資料提供等
- ④ジオパーク等の活用：「自然資産を活かした地域・人づくり ESD ダイアログ」の開催（1 回、2 時間程度、オンライン、講師（大学准教授級、1 名想定））
- ⑤域内外の多様な主体の連携促進、交流の機会の提供
  - ア. 活動計画の作成（テーマ設定、中核実践者・講師等の選定、6 月末を目安に年間活動計画作成）
  - イ. 交流者の参加募集
  - ウ. 学び合いの実施
    - ・「学び合いの場」（オンライン開催、2 回）
    - ・「SDGs 社会教育研究会 WG」（会場開催、3 回）
  - エ. 実践活動の実施（11 月末までに）
  - オ. 報告：活動結果のまとめ作成
- ⑥「(仮)中部版 ESD ワークブック」（試行版）の作成
- ⑦SDGs へ向けた ESD 推進のための教育現場の実態把握と連携強化
  - ア. 専門家への包括的ヒアリング（オンライン、2 時間程度、1 回、大学教授級 1 名想定）
  - イ. 教育部局、教育委員会、現場の教員等へのヒアリング（オンライン、2 時間、2 回程度）
- ⑧地域循環共生圏への協力、全国センターとの連携協力の推進等
  - ・全国センター実施会議（企画運営員会 2 回、ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会 2 回、ESD 全国フォーラム 1 回を想定）への出席、情報・資料提供等の協力
  - ・全国フォーラムへの協力・対応

(7) ESD/EPO の行事を通じた行動の変容の把握

- ①行動変容の把握：代表的な主催行事参加コアメンバーへの簡易的ヒアリング（電話、メール等）、今年度成果（行動の変容）の取りまとめ（6 事例程度）
- ②地域循環共生圏及びローカル SDGs の実践状況等の評価
  - ・地域 SDGs 評価メニュー、プログラム等の情報収集
  - ・評価の試行的実践（2 事例程度）

(8) 関係主体との連携及び協働に関する業務

①中部地方環境事務所との協働による円滑な運営の確保、密接な情報共有及び意見交換

- ア. 事務所担当官と業務の責任者による定期的な打合せ（月1回程度）、日々の業務についての月次報告（様式自由）の作成・提出
- イ. 外部評価委員会への出席（1回程度、半日）、企画作成支援、必要な資料の作成等
- ウ. 中部地方環境事務所との連携による白書を読む会の企画協力
  - ・白書を読む会への企画協力（オンライン、1回、3時間程度、講師（大学教授級3名程度））
  - ・開催にあたっての周知協力（EPOのHPで周知等）、当日の運営サポートなど
- エ. 全国ユース環境活動発表大会への参画
  - ・全国ユース環境活動発表大会（中部大会、1回程度、半日）に参画
  - ・事務所担当官の要望に応じて審査委員を選定・報告
- オ. 記者発表を希望する行事がある場合に必要な資料等の作成と事務所担当官への相談

②全国の地方EPO・GEOC・ESD活動支援センター（全国・地方）のネットワークの活用及び連携

- ア. 全国事業に関わる業務：全国EPO連絡会議（3回程度、都内2回、地方1回、ハイブリッド開催）への出席・協力
- イ. 地方EPOネットワークとの情報交換会：GEOC主催・持続可能な地域づくりのための情報交換会（3回、都内、オンライン併用、1回あたり2時間程度）

(9) 外部資金を活用した事業

(10) 成果物の提出

- ・四半期報告書の作成・提出
- ・地域ニーズの把握：次年度行事のニーズ及び新規連携の可能性の取りまとめ（様式自由）
- ・年間報告書、及び概要版の作成・提出

(エ) 業務の実施概要 (2023年3月20日時点)

仕様書業務項目	業務内容		実施・開催等の進行状況		
1 業務実施計画の作成	業務実施計画の作成・公表		作成済み →第1回運営委員会に諮問 ウェブサイト掲載		
2 運営会議	ESD/EPO運営委員会の設置・開催【2回】		第1回:5/25実施 議事録公開	第2回:1/31実施 議事録公開	
3 基本業務	3-1	HP(EPO, ESD)の更新・維持管理	適宜実施 アクセス数(PV数):EPO:30,437件/ESD:10,738件		
	3-2	収集・整理・蓄積した情報の発信 (メールマガジン発信)	毎月1回以上メルマガ発行		
	3-3	リーフレットの配布	4月に300部印刷	3月に300部増刷	イベント等で配布活用
	3-4	照会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	適宜実施	相談対応:40件/電話・メールでの相談:200件/講師招聘:62件/業務打合せ:99件	
	3-5	定例報告	月次報告書の提出	来館利用件数:79件/来館者数:139人 事業実施日数:計262日	
4 協働取組の促進のための業務	4-1	地元ネットワークを活用したフォーラム開催【1回(3時間)】	11/23に地域循環共生圏フォーラムを長野県諏訪市で開催		
	4-2	協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【北信越2回(各2時間)】	信州:山室氏と連携して勉強会①11/5開催	信州:山室氏と連携して勉強会②2/26開催	
	4-3	活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【2事例】	4-2長野県茅井地区:11/5セミナーで活用	6-4SDGs未来都市3自治体:2/4学生サミットで活用	
	4-4	ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)】	ローカルSDGs/地域循環共生圏セミナーを12/15開催		
5 地域循環共生圏の創造推進業務	5-1	プラットフォーム支援:新規団体(2団体)ヒアリング、月1回以上の連絡等	PF丹南に4/21ヒアリング実施	PF大町に4/19ヒアリング実施	
	5-2	PFステークホルダーミーティング開催の後方支援(2団体)	PF丹南:1/18にミーティング実施	PF大町:12月実施会合をSHミーティングに位置づけ	PF七尾:9/22にミーティング実施
	5-3	中間報告会【1回(3時間)】	11/18-19に長野県大町市で実施		
	5-4	環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業形成会議、成果共有会	作業部会①8/18、②1/13に出席	共有会:5/17、事業形成会議:12/13に出席	成果共有会:3/8-9に出席
	5-5	卒業団体のフォローアップ調査:ヒアリング【1件】	PF尾鷲を対象に12/23ヒアリングを実施	ヒアリング結果をGEOCへ提出	
	5-6	森里川海生態系ネットワーク形成会合(情報交換会)【2回】	①11/8情報交換会を開催	②1/25フォーラムを開催	
	5-7	地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業:情報交換会【4回】、GEOCへの情報提供	①尾鷲会合:1/20開催、②丹南会合:2/7開催、③脱炭素セミナー(東海開催):3/6開催、④脱炭素セミナー(信州開催):3/14開催		
	5-8	担い手主体の把握・関係性構築	日本環境NPOネットワークとの情報交換を2/9に実施		

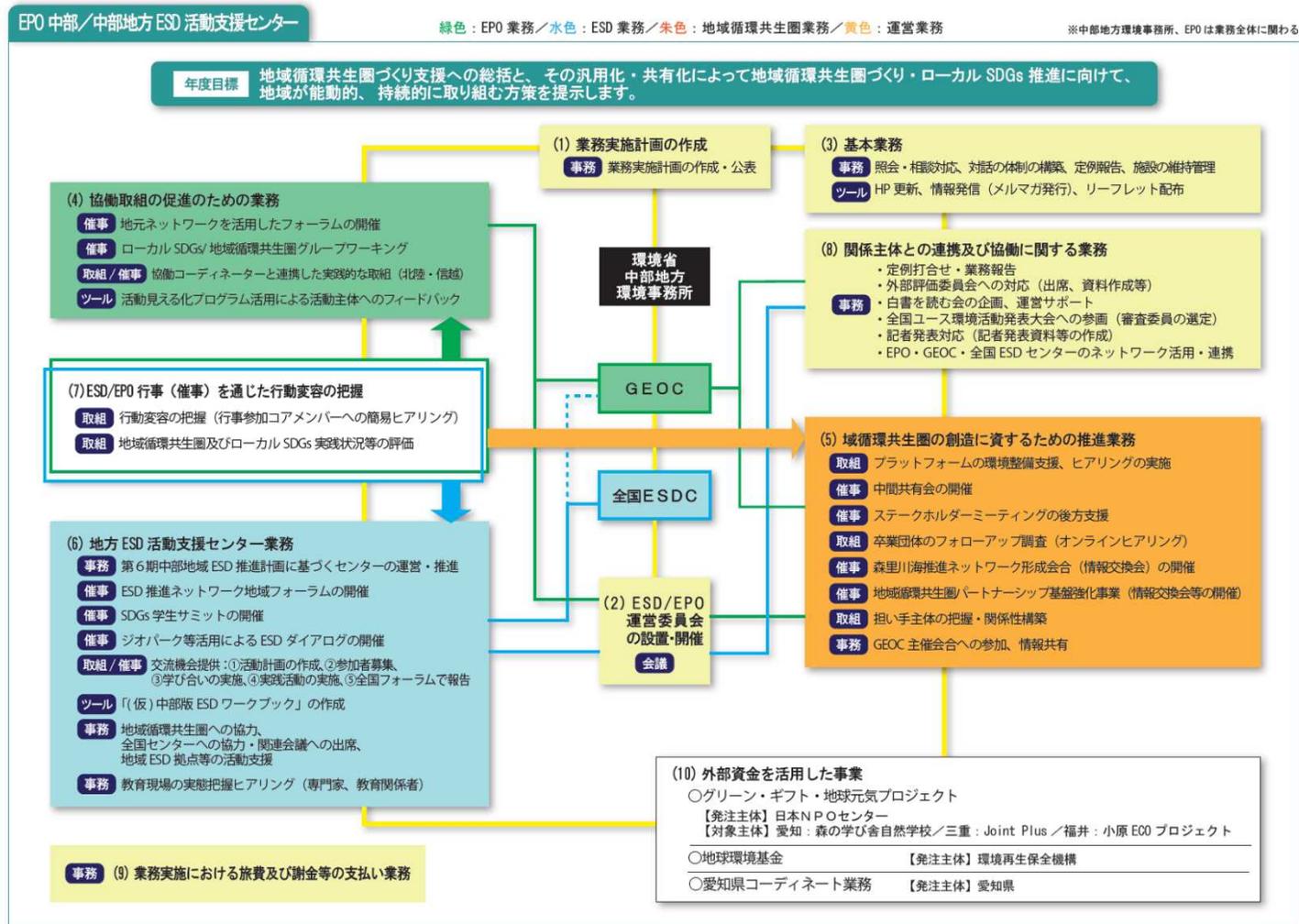
仕様書業務項目	業務内容		実施・開催等の進行状況			
6 中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1	センターの運営・推進	ESD推進計画(昨年度作成)を基に、適宜実施			
	6-2	地域ESD拠点等の活動支援	適宜実施			
	6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回】	12/5に名古屋市内で地域ESD拠点登録団体の会合として実施			
	6-4	SDGs学生サミット【1回(半日程度)】	7大学、SDGs未来都市3自治体が登壇する会合を2/4開催			
	6-5	ジオパーク等の活用;ESDダイアログの開催	11/26-27に福井県勝山市で中部のジオパーク関係者が集う会合を開催			
	6-6-1	交流機会提供 ①活動計画の作成、②交流者の参加募集、⑥全国フォーラム結果報告	①活動計画を作成して社会教育WGに諮問して確定	②チラシを作成して広報展開	⑤12/10全国フォーラムに参加し、実施結果資料を提示	
	6-6-2	学び合いの実施;③学び合いの場【2回】、④SDGs社会教育WG【3回】、⑤実践活動	③8/25、9/1(全2回)の学びあい(オンラインセミナー)を開催	④6/21、9/26、12/20(全3回)の研究会を実施	⑤11/25に福井県大野市で実践セミナーを開催	
	6-7	「(仮)中部版ESDワークブック」の作成	6-6-2④で協議・検討しつつ作成、完成			
	6-8	教育現場の実態把握と連携強化:①専門家【1名(2時間)】②教育関係者【2回(各2時間)】	①2/14愛教大・大鹿先生にヒアリング	②2/14緒川小学校にヒアリング	②2/19松本大学・田開先生にヒアリング	
	6-9	地域循環共生圏への協力、全国センターとの連携協力の推進	適宜実施			
6-10	全国ESDセンターとの連携;企画運営委員会【2回】、連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】に出席・参加	運営会議:①6/23実施、②3/2に出席	連絡会:①6/15、②1/23に出席	全国フォーラム12/10に参加		
7 行動変容の把握	7-1	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	①諏訪フォーラム、②尾鷲会合、③学び合いプロジェクト、④実践セミナー、⑤ESDダイアログ、⑥長野市芋井地区の連携・協力主体を対象にヒアリングを実施			
	7-2	SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	①PF丹南でSDGs指標物語のシート作成	②4-2芋井地区を対象にSDGs指標物語のシート作成		
8 関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1	事務所担当官と業務の責任者等で定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	月1回以上の定例打合せを計12回実施			
	8-2	外部評価委員会への出席【1回】、資料作成対応	業務報告資料、自己評価シートを作成・記入	2/28外部評価委員会にオンライン出席して実施業務の説明、質疑対応等を実施		
	8-3	白書を読む会の企画協力、広報協力、運営サポート	9/13開催の白書を読む会において、なごや環境大学による企画・広報・運営に協力、当日は司会進行を実施			
	8-4	全国ユース中部大会に参加【1回】、審査委員の選定	審査委員に水上委員を推薦	中部大会:12/11出席		
	8-5	記者発表等報道対応	諏訪、実践セミナー、ESDダイアログで地元新聞社からの取材に対応(新聞記事として掲載)			
	8-6	GEOC主催の全国EPO連絡会議【3回】、情報交換会【3回】への参加・出席	連絡会議:①6/14、②10/11-12、③1/24に出席	情報交換会:①12/23、②3/16、③3/24に出席(予定)		
	8-7	地域ニーズの提出(2/15提出期限)	参加者アンケートの回収結果等を整理したものを中部地方環境事務所へ提出			
9	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	適宜実施				
10	外部資金を活用した事業:①グリーン・ギフト・地球元気プロジェクト、②地球環境基金、③愛知県環境学習コーディネート業務	①3団体のイベント支援	②6/14、8/4会議出席、基金説明会:10/24	③相談業務6件、コーディネート業務10件実施		
仕様書	1	環境省情報セキュリティポリシーの遵守及び情報セキュリティ体制等の届出	4/1提出済み			
	2	情報セキュリティ対策の報告について	年間報告書の納品時に提出			
	3	オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト	年間報告書の納品時に提出			
	4	資材確認票	年間報告書の納品時に提出			

# 1 業務実施計画の作成

## ア 作成した令和4年度業務実施計画

### ①業務概要

#### 中部環境パートナーシップオフィス運営業務 令和4年度(2022年度)業務一覧



第6期 目標

アフター・コロナ、地域循環共生圏づくり・SDGs 活用が進みつつある中部エリアにおいて、新フェーズに対応し、地域が必要とする協働・ESD・SDGs の実践・実践のための支援と、誰も取り残されないターゲット設定、EPO 機能強化の関係構築に取り組みます。

## ②業務スケジュール

仕様書業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1 業務実施計画の作成	業務実施計画の作成・公表	富田	作成	運営委員会への提示	修正→公開											
2 運営会議	ESD/EPO運営委員会の設置・開催【2回】	清本、原、富田、小松	資料作成、開催準備・調整	運営委員会1開催	開催結果とりまとめ→公開						資料作成、開催準備・調整	運営委員会2開催	開催結果とりまとめ→公開			
3 基本業務	3-1 HP(EPO、ESD)の更新・維持管理	富田、小松	月2回以上の更新を適宜実施													
	3-2 収集・整理・蓄積した情報の発信(メールマガジン発信)	小松	月1回以上の配信を適宜実施													
	3-3 リーフレットの配布	富田、小松	印刷	以後、適宜印刷のうえ、イベント等で配布											印刷	
	3-4 照会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	清本、原、富田、小松	適宜実施し、記録及び報告													
	3-5 定例報告	富田、小松	毎月初めに報告資料を集計・作成、提出													
4 協働取組の促進のための業務	4-1 地元ネットワークを活用したフォーラム開催【1回(3時間)】	清本、原、富田、小松	各連携主体にヒアリング↓企画案等を作成	運営委員会に諮る	関係地域・団体(5-8担い手を想定)との調整、企画・準備					フォーラム開催						
	4-2 協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【北信越2回(各2時間)】				協働コーディネーターとの調整					フォーラム開催		運営委員会に報告				
	4-3 活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【2事例】				ヒアリング		見える化チャート作成			フィードバック						
	4-4 ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)】				企画案作成		関係者との調整、準備			ワーキング開催						
5 地域循環共生圏の創造推進業務	5-1 プラットフォーム支援:新規団体(2団体)ヒアリング、月1回以上の連絡等	富田	各PFにヒアリング実施	とりまとめ報告	各団体のサポート計画(スケジュール・意向等)に応じて適宜支援						次年度展開の事務局打合せ					
	5-2 PFステークホルダーミーティング開催の後方支援(2団体)	清本、原、富田			実施方法等についてPFと調整			PF団体それぞれでSHミーティング開催								
	5-3 中間報告会【1回(3時間)】	清本、原、富田			実施日・場所・方法等について関係者と調整	企画案作成	準備	中間報告会の開催								
	5-4 環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業形成会議、成果共有会	清本、富田	適宜参加		キックオフM											
	5-5 卒業団体のフォローアップ調査、ヒアリング【1件】	清本、富田							依頼	ヒアリング実施	結果とりまとめ					
	5-6 森里川海生態系ネットワーク形成会合(情報交換会)【2回】	清本、富田	関係主体へのヒアリング	運営委員会に諮る		関係者との協議・調整		企画案作成	準備	第1回情報交換会の開催	準備	第2回情報交換会の開催				
	5-7 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業:情報交換会【4回】、GEOCへの情報提供	清本、富田			関係者との協議・調整/企画案作成			準備				①尾鷲会合開催	②丹南会合開催	③東海セミナー開催 ④信州セミナー開催		
	5-8 担い手主体の把握・関係性構築	富田							対象団体検討	対象団体との調整		情報交換実施				

全業務の実施結果のとりまとめ/年間報告書の提出

仕様書業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6 中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1 センターの運営・推進	原、富田、小松	第6期中部地域ESD推進計画に基づき適宜実施											
	6-2 地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	適宜対応											
	6-3 ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回】	清本、原、小松	企画案作成	関係機関との調整・準備						フォーラム開催				
	6-4 SDGs学生サミット【1回(半日程度)】	清本、原、小松	企画案作成	関係機関との調整・準備						学生サミット開催				
	6-5 ジオパーク等の活用;ESDダイアログの開催	清本、原、小松	企画案作成	ジオパーク関係者との調整・準備						ESDダイアログ開催				
	6-6-1 交流機会提供 ①活動計画の作成、②交流者の参加募集、⑥全国フォーラム結果報告	原、小松	①活動計画の作成	運営委員会に諮る	センターとの共有	②参加募集		⑤全国フォーラム報告						
	6-6-2 学び合いの実施、③学び合いの場【2回】、④SDGs社会教育WG【3回】、⑤実践活動	原、富田、小松		関係者との調整	④WG 1	準備	③学び合い1	③学び合い2	④WG 2	⑤実践活動	④WG 3			
	6-7 「(仮)中部版ESDワークブック」の作成	原	プロトタイプ版の改訂方法の検討		ワークブックの内容検討		原稿作成		ワークブック完成					
	6-8 教育現場の実態把握と連携強化:①専門家【1名(2時間)】②教育関係者【2回(各2時間)】	原											業務関係者の専門家・教育関係者等へのヒアリング実施	とりまとめ
	6-9 地域循環共生圏への協力、全国センターとの連携協力の推進	原	適宜実施											
6-10 全国ESDセンターとの連携;企画運営委員会【2回】、連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】に出席・参加	原	適宜出席・参加												
7 行動変容の把握	7-1 行動変容の把握;行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田											業務の連携・協力者6団体へのヒアリング、結果とりまとめ	運営委員会2に報告
	7-2 SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原	計画案作成	運営会議1に諮る	SDGs等の実践状況等の評価方法整理				2事例で試行的に実践					
8 関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1 事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告		適宜実施(月1回以上の打合せ、月次報告)											
	8-2 外部評価委員会への出席【1回】、資料作成対応	清本、原、富田、小松											資料作成	外部評価委員会出席
	8-3 白書を読む会の企画協力、広報協力、運営サポート		名古屋市との調整、協力事項確認		名古屋市側のスケジュール等に依りて適宜実施		白書を読む会開催							
	8-4 全国ユース中部大会に参画【1回】、審査委員の選定	清本	審査委員の推薦				中部大会に参画							
	8-5 記者発表等報道対応	富田	適宜実施											
	8-6 GEOC主催の全国EPO連絡会議【3回】、情報交換会【3回】への参加・出席	清本、富田	適宜参加・出席等対応											
9 業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務		小松、小栗	適宜実施											
10 外部資金を活用した事業:①グリーン・ギフト・地球元氣プロジェクト、②地球環境基金、③愛知県環境学習コーディネイト業務		清本、小栗、小松、服部	①日本NPOセンター、②環境再生保全機構、③愛知県環境学習プラザと連携して適宜実施											

全業務の実施結果のとりまとめ/年間報告書の提出

### ③定量的な達成目標（インプット・アウトプット）の設定

仕替業務項目	業務内容	担当	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)		備考				
			外部関係者とその役割	催事、情報発信	コンテンツ等、情報の発信	設備・システム・知見など		参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加工)	アウトカム(予想される成果)	
1	業務実施計画の作成	富田	・外部有識者:必要に応じて助言	・令和4年度の業務実施計画の作成 ・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討	・令和4年度業務実施計画 ・令和4年度アウトプット・アウトカム目標一覧表			・令和4年度業務遂行計画として事業推進の内容が見える化される。 ・それぞれの業務についてアウトプット、アウトカムの評価が可能となる。			
2	運営会議	清水、原、富田、小松	・外部有識者:運営委員として議論参加、助言	・ESD/EPO中部運営会議(2回オンライン開催)	・会議資料、議事録	・各回7名以上の参加	・事務局に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・事務局に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただくとともに事務局に積極的な参画を得て効果的な活動を展開に寄与する。			
3	3-1	HP(EPO、ESD)の更新・維持管理	富田、小松	・専門業者:相談(管理問い合わせ等)	・HPの更新	・HPのページ更新(月2回以上)	・ページビュー数(昨年度同水準以上)	・更新されたHPに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・HPIによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上		
	3-2	収集・整理・蓄積した情報の発信(メールマガジン発信)	小松		・メールマガジンの作成・発行 ・SNSによる情報発信	・メールマガジン(月1回以上) ・SNS記事	・情報発信回数(昨年度同水準以上)	・情報発信頻度の維持、拡大 ・コンテンツに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・EPO、ESDCの認知の維持、拡大 ・好感度の向上、掲載情報利用の拡大		
	3-3	リーフレットの配布	富田、小松		・印刷:外注(必用に応じ)	・リーフレット(必用に応じて情報更新A4フルカラー必要部数)	・配布数(昨年度同水準以上)	・配布部数の増加、リーフレットに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・リーフレットによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上		
	3-4	例会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	清水、原、富田、小松	・外部の様々な活動団体:活動等参加先	・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集、マッチング支援と助言 ・業務日報等の関連文書の作成と報告	・例会・相談の記録簿 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録 ・講師派遣の記録 ・業務日報等の文書	・紹介・相談件数 ・資料取集数、参加記録件数 ・講師等派遣回数	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数の増加 ・講師派遣件数の増加	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の増 ・事務局担当官の状況把握と理解による全体業務の円滑な運営		
	3-5	定例報告	富田、小松								
4	4-1	地元ネットワークを活用したフォーラム開催(1回(3時間))	富田、小松	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・フォーラム(ハイブリッド、1回、3時間、30名程度)	・開催記録	・参加者30名程度	・参加者の意欲(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意欲向上、認知の拡大、知見の増加		
	4-2	協働コーディネーターとの連携による実証的な取組【北信越2回(各2時間)】	清水、原、富田、小松	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・実証的取組(必用に応じてオンライン、2回程度、各2時間程度、30名程度)	・開催記録	・参加者各30名程度 ・中間支援団体等との連携協働実績	・参加者の意欲(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意欲向上、認知の拡大、知見の増加		
	4-3	活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【2事例】	協働コーディネーター、地域関係者との連携		・活動内容のヒヤリングと活動見える化プログラム分析	・分析票(2事例) ・分析チャート(2事例)		・分析対象主体や関係者の感想、意見	・分析対象主体の取組構築とSDGs貢献の意義の認識の向上		
	4-4	ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)】	富田、小松	・NPO、基礎自治体、事業者等	・セミナー及びワーキング(オンライン、1回、3時間程度、講師1名(大学教授級))	・開催記録	・参加者20名程度、学識者1名参加	・参加者の意欲(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意欲向上(自治体内部関係者も含む)、認知の拡大、知見の増加		
5	5-1	プラットフォーム支援、新規団体(2団体)ヒヤリング、月1回以上の連絡等	富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、GEOC	・伴走支援(月1回以上の採択団体との電話やオンライン会議等による連絡、関係者との調整支援、会議運営にかかる助言、人材育成の支援、採択団体がマタダラ作成を通じて行う課題整理・協働取組の各過程の支援、事業発足のプロセス支援などを実施)の提供 ・登録団体や過年度の採択団体への環境ローカルビジネスづくりの情報提供 ・新規採択団体の事業目標及び年間計画等ヒヤリング、ヒヤリング結果、全団体支援計画等のGEOCへの提出	・伴走支援の記録(各団体月1回以上) ・(新規採択)団体の事業目標及び年間計画等ヒヤリング結果 ・全団体支援計画等(GEOC提出)	・地域循環共生圏取組の伴走支援についての知見 ・各団体の構成員、担当官、専門家等の関係者のご意見や感想	・環境整備のプロセスにかかるとの支援(2団体程度、各2回程度現地支援) ・各団体との連絡調整(月1回以上)	・地域循環共生圏の取組に対する適切な伴走支援方法とその効果についての知見の蓄積		
	5-2	PFステークホルダーミーティング開催の後方支援(2団体)	清水、原、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者	・各活動(採択)団体が行う環境整備を推進するためのステークホルダーミーティングの後方支援	・開催結果を取りまとめとGEOCへの報告	・開催記録	・ステークホルダーミーティング開催実績	・参加者の意欲、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏の取組理解の深化、出口戦略への意識化	
	5-3	中間報告会【1回(3時間)】	清水、原、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者	・中間共有会(1回程度、3時間程度)		・中間共有会開催記録	・各団体同士の情報共有	・関係団体への参加	・関係者のご意見	・採択団体同士の相互参照によるネットワーク形成
	5-4	環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業形成会議、成果共有会	清水、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、本署、GEOC		・GEOCが主催する地域循環共生圏の支援に向けた、キックオフミーティング(1回、都内、2日程度、6月)、作業部会(2回程度、1回当日3時間程度、都内)、共有会(1回、3時間程度、オンラインを想定)、生圏PF事業形成会議(1回、3時間程度、オンラインを想定)、成果共有会及びネットワークイベント(1回、都内、2日程度、3月)参加 ・キックオフミーティング及び成果共有会にむけての活動(採択)団体の資料作成等支援し、当日の意見交換補佐		・参加による情報共有 ・資料作成等支援と意見交換補佐	・関係者のご意見	・全国地方EPOとの情報共有とその知見による伴走支援の促進・向上	
	5-5	卒業団体のフォローアップ調査:ヒヤリング【1件】	清水、富田	・中部EPO管内卒業団体、GEOC		・その後の取組の進捗の把握について、卒業団体のオンラインヒヤリング(1件程度)	・GEOCへのヒヤリング報告書		・GEOC等関係者のご意見	・PF事業の進め方、効果、支援のあり方の共有	
5-6	森里川海生態系ネットワーク形成会合(情報交換会)【2回】	清水、富田	・地域の自治体、企業、金融機関	・森川里海推進ネットワーク形成会合(情報交換会)の実施、2回程度、2時間程度、30名程度		・森川里海推進ネットワーク形成会合記録	・参加者30名程度(各回)	・参加者の意欲、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・森里川海運動の促進のための地域自然資源のフィードバック重要性の共有、ネットワークの形成		
5-7	地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業:情報交換会【4回】、GEOCへの情報提供	清水、富田	・企業及び地域金融や経済団体	・情報交換会の開催(4回程度、2時間程度)			・参加者20名程度(各回)	・参加者の意欲、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏づくりにおける経済・金融機関とのネットワークの形成		
5-8	担い手主体の把握・関係性構築	富田	・5-1から5-7の関係者		・地域循環共生圏に通じる担い手(団体等)について、把握し地域循環共生圏に関する情報を提供するほか、関係性を構築する(2団体程度)		・地域循環共生圏に通じる担い手団体関係性構築(2団体程度)	・地域循環共生圏に通じる担い手団体の意見や感想	・担い手団体による地域循環共生圏の促進、意識の向上		

仕舞業務項目	業務内容	担当	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)		アウトカム		備考		
			外部関係者とその役割	催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など		アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)
中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1 センターの運営・推進	原、富田、小松	・ESD関係者		・相談対応、情報発信、各事業でのネットワーク構築			・3基本業務のアウトプットを含む	・3基本業務のアウトカムを含む	・ESD関係者とのネットワーク構築と知見の集積	
	6-2 地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	・地域ESD拠点関係者		・地域ESD拠点情報交流、ESD拠点登録支援			・ESD拠点登録数	・ESD拠点関係者の意見や感想(ヒヤリング)	・中部地方のESDネットワークの拡充	
	6-3 ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回】	清木、原、小松	・地域ESD拠点関係者		・ESD推進ネットワーク地域フォーラム開催(1回)	・地域フォーラム開催記録		・ESD拠点関係者(20人程度)	・ESD拠点関係者の意見や感想(アンケート等)	・地域におけるESD活動の課題やニーズ、普及・啓発の効果的な手法等について参加者同士の共有	
	6-4 SDGs学生サミット【1回(半日程度)】	清木、原、小松	・中部地方大学研究室、地方自治体等		・ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム中部学生サミット【1回(半日)】/オンライン	・開催記録		・サミット参加30名程度	・参加者の意識等(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	6-5 ジオパーク等の活用、ESDダイアログの開催	清木、原、小松	・ジオパーク等、環境省地域資源・専門家等のゲスト・講演、研修提供、講演		・「自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ」の開催【1回】半日程度	・ダイアログ開催記録		・参加者20名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
	6-6-1 交流機会提供(①活動計画の作成、②交流者の参加募集、③全国フォーラム結果報告)	原、小松	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点		・活動計画の作成 ・交流者の参加募集(全国センターのネットワークで調整) ・全国フォーラム結果報告(全国センターのネットワークで調整)	・活動計画書 ・活動報告書(全国フォーラム報告書)				・ESDネットワークにおける中部ESD活動の情報共有と理解の促進	
	6-6-2 学び合いの実施③:学び合いの場【2回】、④:SDGs社会教育WG【3回】、⑤:実践活動	原、富田、小松	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点		・学び合いの場【2回】オンライン ・SDGs社会教育WG【3回】 ・実践活動【1回】			・学び合いの場【2回(各1.5時間)】のべ20名 ・SDGs社会教育WG【3回(各2.5時間)】有識者と実務者計4人 ・実践活動【1回(2時間)】20名	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・実績のある社会人ESDの情報共有による「ローカルSDGsのためのESDの社会実装」への貢献	
	6-7 「(仮)中部版ESDワークブック」の作成	原	・有識者によるWG		・SDGs社会教育WG:有識者によるWGディスカッション(6-6-2)	・ワークブック作成のための調査、情報収集 ・「現場から学ぶ!SDGs人材育成ワークブック」(試行版)の作成	・「現場から学ぶ!SDGs人材育成ワークブック」(試行版)コンテンツ		・関連する事例、知見	・ワークブックについての運営委員など関係者のご意見	・ワークブックの試行活用による社会ESDの促進
	6-8 教育現場の実態把握と連携強化①:専門家【1名(2時間)】②:教育関係者【2回(各2時間)】	原	・SDGs、ESDに詳しい専門家 ・SDGs意思のある教育関係者、教育委員会、現場の教員		・専門家への包括的ヒヤリング(オンライン、2時間程度、1回、大学教授級1名想定) ・教育関係者へのヒヤリング(オンライン、2時間程度、2回程度)	・ヒヤリング結果			・ヒヤリング対象の感想 ・運営委員等の外部評価	・有意義な知見の入手 ・ESD、SDGs専門領域との連携強化	
	6-9 地域循環共生圏への協力、全国センターとの連携協力の推進	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター		・ESDの考え方をベースに、「地域循環共生圏」の人づくりのための域資源を発掘しと活用 ・活動状況調査等に対する情報・資料の提供等の協力・対応	・関係する情報・資料				・ESD全国センター等ネットワークとの連携	
6-10 全国ESDセンターとの連携:企画運営委員会【2回】、連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】に出席・参加	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター		・企画出席・参加による情報収集と整理 ・企画運営委員会(オンライン、2回程度、各半日) ・全国・地方連絡会(オンライン、2回程度、各半日) ・ESD推進ネットワーク全国フォーラム(オンライン、1回、1日)			・参加による記録等の情報共有		・中部ESD活動支援センター活動に反映させるべき知見の整理結果	・ESD全国センター等ネットワークや施策動向の把握	
7 行動変容の把握	7-1 行動変容の把握:行事参加者へのヒヤリング(3月中旬までに)【6事例】	清木、原、富田	・4から6の関係者		・行動変容のためのコメンターに対する簡易的ヒヤリング(電話、メール等)	・行動変容のためのコメンターに対する簡易的ヒヤリング結果		・行動変容のためのコメンターに対する簡易的ヒヤリング結果【6事例】	・ヒヤリング結果の分析と解釈	・地域循環共生圏構築行動など持続可能社会に貢献する行動変容	
	7-2 SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原	・関係する専門家等		・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の情報収集と活用 ・月次報告書の作成	・地域SDGs評価試行の事例(2事例) ・月次報告書	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用実践		・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用効果に関する専門家意見 ・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営 ・EPO中部ESDICに対する適正な評価 ・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
8 関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1 事務所担当官と業務の責任者との定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告				・定期的打合せ(月1回以上)	・月次報告書の作成			・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
	8-2 外部評価委員会への出席【1回】、資料作成対応	清木、原、富田、小松			・中部地方環境事務所開催会議への出席、資料作成対応	・対応資料			・関係者の意見	・EPO中部ESDICに対する適正な評価 ・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
	8-3 白書を読む会の企画協力、広報協力、運営サポート	清木			・白書を読む会の企画運営サポート	・企画運営サポート記録			・関係者の意見	・EPO中部ESDICに対する適正な評価 ・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
	8-4 全国ユース大会に企画【1回】、審査委員の選定	清木			・全国ユース大会への企画、審査委員選定	・全国ユース大会企画、審査委員選定記録		・審査委員選定	・関係者の意見	・EPO中部ESDICに対する適正な評価 ・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
	8-5 記者発表等報道対応	富田			・プレスリリース資料の作成、実施(必須に応じて)	・プレスリリース資料(必須に応じて)		・プレスリリース(必須に応じて)	・関係者の意見	・EPO中部の認知度の向上	
8-6 GEOC主催の全国EPO連絡会議【3回】、情報交換会【3回】への参加・出席	清木、富田			・GEOC主催の全国EPO連絡会議【3回】、情報交換会【3回】への参加・出席	・GEOC主催の全国EPO連絡会議【3回】、情報交換会【3回】への参加・出席		・全国情勢の情報	・関係者の意見	・GEOC事業への協力		
9 業務実施における原資及び謝金等の支払い業務	小松、小栗								・適正支出の明確化		
10 外部資金を活用した事業:①グリーン・ギフト・地球気候プロジェクト、②地球環境基金、③愛知県環境学習コーディネーター業務	清木、小栗、小松、服部							・支払い記録	・会計部署の承認		

## イ 業務実施計画の公表

- 作成した令和4年度業務実施計画については、ESD/EPO 運営委員会（第1回会議）に諮ったうえで、EPO 中部ウェブサイトに掲載、公開した。
- 中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイトについても、EPO 中部ウェブサイトへの直リンク見出し記事を掲載した。

### 【EPO 中部ウェブサイト】

各期事業計画と各年度の業務実施計画	
■ 今期・第6期（2021～2023年度）の計画	
2022年度（令和4年度） 業務実施計画	<a href="#">PDFファイルで閲覧</a>
2021年度（令和3年度） 業務実施計画	<a href="#">PDFファイルで閲覧</a>
第6期3カ年度の事業計画	<a href="#">PDFファイルで閲覧</a>
■ 第5期（2018～2020年度）の計画	
2020年度 業務実施計画等	<a href="#">PDFファイルで閲覧</a>
2019年度 業務実施計画等	<a href="#">PDFファイルで閲覧</a>
第5期3カ年度の事業計画と2018年度業務実施計画	<a href="#">PDFファイルで閲覧</a>

### 【中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイト】

←全国センターへ EPO中部へ→

中部地方 ESD 活動支援センター  
Education for Sustainable Development

サイト内を検索

ホーム > センター概要一覧ページ

### センター概要

2022.06.28 センター概要  
**中部地方ESD活動支援センターの2022年度業務実施計画**  
2022年度（令和4年度）の当センター及びEPO中部の業務実施計画を掲載しました。  
（※EPO中部ウェブサイトへリンク）

2022.03.14 ESD/EPO運営委員会  
**2021年度第2回ESD/EPO運営委員会を開催**  
2021年度第2回目のESD/EPO運営委員会を2月28日に開催し、その議事概要を公開しています。

2021.11.09 お知らせ コンテンツ紹介  
**中部地方ESD活動支援センター／EPO中部の新しいリーフレットが完成**

### 当センターについて

センター概要  
アクセス・開館時間  
お知らせ  
ESD/EPO運営委員会

事業報告  
SDGsチェックリスト  
SDGsワークショップ

イベント&ニュース  
表彰・アワード

取材レポート

コンテンツ紹介  
教材・資料

ESD拠点のお知らせ  
中部の地域ESD拠点

サイト利用案内

## 2 ESD/EPO 運営委員会の設置・開催

### ア 委員について

- 運営委員については、令和3年度に選定した次表・9名の委員に、継続して令和4年度の委員としての委嘱確認を行った。

#### 【委員名簿】

No.	分野等	地域	氏名	所属先	役職
1	学識者／ESD	東海	伊藤 恭彦	名古屋市立大学	副学長
2	学識者／学校教育	北陸	加藤 隆弘	金沢大学大学院教職実践研究科	准教授
3	学識者／地域整備計画	東海	加藤 義人	岐阜大学工学部	客員教授
4	協働コーディネーター	北陸	塚 勇人	一般社団法人環境市民プラットフォームとやま (PECとやま)	常務理事／ 事務局長
5	企業／福祉	東海	杉浦 真理子	株式会社アクト	代表取締役
6	NPO／地域づくり	東海	田辺 友也	認定NPO法人まちづくりスポット	専務理事
7	自治体	東海	濱田 一多朗	尾鷲市政策調整課	課長補佐兼 企画調整係長
8	企業／環境学習	北陸	水上 聡子	アルマス・バイオコスモス研究所	代表
9	学識者／自然生態系	信州	水谷 瑞希	信州大学教育学部 附属志賀自然教育研究施設	助教

### イ 会議の実施

#### (ア) 第1回会議

##### ①日時

- 2022年5月25日（水）13:00～16:00

##### ②開催方法

- オンライン会議（Webex ミーティング）

##### ③出席者

- 運営委員：9名全員出席
- 中部地方環境事務所環境対策課：原課長補佐、滝藤主査
- 事務局：福井理事長、清本事務局長、原、富田、小松



##### ④議事次第

1. ご挨拶 環境省中部地方環境事務所
2. 本委員会設置要領について
3. 令和4（2022）年度のEPO 中部運營業務の実施計画について
4. EPO 業務について
  - (1) EPO 業務事務局案の説明
  - (2) 意見交換
5. ESD 業務について

- (1) ESD 業務事務局案の説明
- (2) 意見交換
- 6. その他／第2回委員会の日程調整等
- 7. 閉会

## ⑤会議資料

- 資料1：ESD/EPO 運営委員会設置要領
- 資料2：令和4（2022）年度業務実施計画
- 資料3：EPO 業務事務局説明資料
- 資料4：ESD 業務事務局説明資料
- 参考資料1：ESD 推進ネットワーク成果と課題及び今後の取り組みの方向性（提言）骨子案
- 参考資料2：第6期中部のESD 推進計画（前年度作成）
- 参考資料3：2022年度「森里川海生態圏ネットワーク形成会合」について



## (イ) 第2回会議

### ①日時

- 2023年1月31日（火）13:00～16:00

### ②開催方法

- オンライン（Webex ミーティング）

### ③出席者

- 運営委員：8名 ※田辺友也委員は忌引きのためご欠席
- 中部地方環境事務所環境対策課：曾山課長、原課長補佐、滝藤主査
- 事務局：福井理事長、清本事務局長、原、富田、小松



#### ④議事次第

1. ご挨拶 環境省中部地方環境事務所
2. 今年度実施した ESD 業務について
  - (1) 事務局による ESD 業務の報告
  - (2) 意見交換
3. 今年度実施した EPO 業務について
  - (1) 事務局による EPO 業務の報告
  - (2) 意見交換
4. 閉会

#### ⑤会議資料

- 資料 1 : 令和 4 年度仕様書上業務の実施状況表  
資料 2 : 今年度の ESD 業務の実施報告資料  
資料 3 : 今年度の EPO 業務の実施報告資料  
参考資料 : SDGs 学生サミットの開催案内チラシ



#### ウ 会議実施結果（議事概要）の公開

- 第 1 回及び第 2 回運営委員会の終了後に、会議の議事概要を作成し、各委員に確認した上で、EPO 中部ウェブサイト公開した。（中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイトにも EPO 中部ウェブサイトへの直リンク見出しを掲載した。）

## ESD/EPO運営委員会

### 運営委員会の設置

EPO中部は、多様なステークホルダー及び有識者で構成される運営委員会を年2回開催し、ESD/EPO業務についての検討、協議、評価を行っています。

また、運営委員が提案する協働取組や、各地域で実施すべき協働取組を、EPO中部の機能を使って実施するスキームとなっています。

※第5期（2020年度）までは「EPO中部運営会議」「中部地方ESD活動支援センター企画運営会議」をそれぞれ設置していました。

### 2021年度（令和3年度）ESD/EPO運営委員（氏名五十音順、敬称略）

- 伊藤 恭彦（名古屋市立大学 副学長）【委員長】
- 加藤 隆弘（金沢大学大学院教職実践研究科 准教授）
- 加藤 義人（岐阜大学工学部 客員教授）
- 堺 勇人（一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事／事務局長）
- 杉浦 真理子（株式会社アクト 代表取締役）
- 田辺 友也（認定NPO法人まちづくりスポット 専務理事）
- 瀧田 一多朗（尾鷲市政策調整課 調整監（SEAモデル事業推進担当））
- 水上 聡子（アルマス・バイオコスモス研究所 代表）
- 水谷 瑞希（信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 助教）

### 規約

[第6期 ESD/EPO運営委員会設置要領](#)

第5期（2020年度／令和2年度）以前の規約

### 議事録

#### 第6期

【2022（令和4）年度】

[2022年度（令和4年度）第2回ESD/EPO運営委員会議事録](#)

[2022年度（令和4年度）第1回ESD/EPO運営委員会議事録](#)

【2021（令和3）年度】

[2021年度（令和3年度）第2回ESD/EPO運営委員会議事録](#)

[2021年度（令和3年度）第1回ESD/EPO運営委員会議事録](#)

第5期（2020年度／令和2年度）以前に実施した会議の議事録

## エ 運営委員との業務における連携（主催イベントへの登壇・参画等）

- 今年度開催した主催イベント・会合等において、下記の通り、運営委員の連携・協力を得て実施した。

項目	実施業務	関係委員
EPO 主催 イベント	12月15日開催 ローカル SDGs/地域循環共生圏セミナー	杉浦委員が参加
地域循環共 生圏づくりへ の支援	11月18日開催 中部ブロック中間共有会	加藤義人委員、田辺委員が出席
	1月20日開催 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業 おわせ SEA モデル説明交流会	濱田委員;おわせ SEA モデル協 議会(尾鷲市政策調整課)と協力 して企画・運営
ESD センター 主催イベント	11月26日開催 ジオパークを活用した ESD ダイアログ	水谷委員が登壇
	12月5日開催 ESD 推進ネットワーク中部地域フォーラム	堺委員が地域 ESD 拠点登録団体 として出席
	2月4日開催 SDGs 学生サミット	伊藤委員長が登壇、堺委員と田 辺委員がファシリテーター登壇
ESD 学び合い プロジェクト	8月25日開催・学び合いの場① 9月1日開催・学び合いの場② 11月25日開催・実践活動(実践セミナー)	堺委員、水上委員が登壇・運営、 その他開催協力
	SDGs 社会教育ワーキング(全3回) 及び同ワーキングでの「ESD ワークブック」作成検討	堺委員、水上委員がワーキング 委員として参画



### 3 基本業務

#### (1) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務

##### ア ホームページの更新及び維持管理

##### (ア) 更新・維持管理状況

- EPO 中部では、環境保全、協働の推進、ESD、SDGs 等に関わる情報を収集・整理・蓄積し、行政機関の動き、公募・助成金情報、イベント情報等の発信を行っている。
- 収集した情報は、EPO 中部及び中部地方ESD活動支援センターの各ウェブサイトにおいて、下表の通り、記事の投稿・掲載・更新を行った。

【EPO 中部 (<http://www.epo-chubu.jp>) 更新実施表】

月	更新回数・計	更新コンテンツ						
		EPO 中部のお知らせ	皆さんのお知らせ	スタッフのあれこれ	EPO 中部とは	EPO 中部がお手伝い	お役立ちツール	その他(メルマガ掲載等)
4月	51	4	41	1	0	1	3	1
5月	48	0	45	1	1	0	0	1
6月	63	1	59	1	1	0	0	1
7月	34	3	28	1	1	0	0	1
8月	51	5	43	1	1	0	0	1
9月	42	2	37	1	1	0	0	1
10月	39	7	30	1	0	0	0	1
11月	35	3	28	1	0	0	0	3
12月	50	6	42	1	0	0	0	1
1月	36	3	29	1	2	0	0	1
2月	63	5	52	1	0	0	3	2
3月	26	1	22	0	0	0	0	3
計	538	40	456	11	7	1	6	17

【中部地方ESD活動支援センター (<http://chubu.esdcenter.jp>) 更新実施表】

月	更新回数・計	更新コンテンツ						
		センター概要	事業報告	イベント&ニュース	取材レポート	コンテンツ紹介	地域ESD拠点トピック	その他
4月	23	0	0	17	0	5	1	0
5月	26	0	0	21	0	3	2	0
6月	26	1	0	22	0	1	2	0
7月	9	1	0	7	0	0	0	1
8月	24	0	2	18	0	3	1	0
9月	11	0	1	8	0	0	2	0
10月	6	0	0	5	0	0	1	0
11月	21	0	0	19	0	0	2	0
12月	23	0	1	19	0	0	2	1
1月	13	0	0	11	0	1	1	0
2月	25	1	2	20	0	1	1	0
3月	9	0	0	9	0	0	0	0
計	216	3	6	176	0	14	15	2

※ いずれも「3月」の数値は3月20日時点で集計を行った。

## (イ) ウェブサイトのアクセス数（ページビュー数）

### 【EPO 中部ウェブサイト】

※ 2020 年度に実施した EPO 中部ウェブサイトのリニューアルの際に、アクセス数の照会元を Google アナリティクスに移行した。（従来の照会元であるサーバー会社によるアクセスレポートが特殊なシステムでページビュー数を集計していたため、一般的なページビュー数を把握できる Google アナリティクス参照に変更した。）

照会元	Google アナリティクス		参考)サーバー会社のアクセスレポート					
	2022 年度	2021 年度	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度
4 月	2,133	3,310	59,189	24,015	66,930	59,319	19,311	32,869
5 月	2,197	2,965	75,304	16,148	56,664	30,280	18,382	37,951
6 月	1,983	3,574	79,962	21,314	61,297	29,150	20,060	27,827
7 月	2,125	2,579	78,408	29,566	52,720	34,314	18,763	19,752
8 月	2,387	2,203	49,173	25,428	43,742	38,479	17,688	25,807
9 月	1,883	1,923	68,449	24,902	43,419	72,087	14,795	34,714
10 月	2,413	4,015	92,734	34,750	42,768	75,127	16,176	24,051
11 月	2,873	2,791	64,309	48,487	38,630	102,551	16,289	18,034
12 月	2,852	2,271	97,461	45,615	35,352	182,209	31,808	23,287
1 月	3,911	2,132	100,899	65,535	23,878	107,374	39,694	31,568
2 月	3,075	2,800	97,007	65,552	14,677	61,384	21,378	35,860
3 月	2,605	1,622	66,811	74,440	21,593	67,883	44,972	23,308
計	30,437	32,185	929,706	475,752	501,670	860,157	279,316	335,028

### 【中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイト】

照会元	※Google アナリティクス					
	2022 年度	2021 年度	2020 年度	2019 年度	2018 年度	2017 年度
4 月	1,057	1,115	1,165	618	595	未開設
5 月	1,030	1,368	648	828	857	未開設
6 月	1,026	1,324	1,620	955	1,301	未開設
7 月	1,025	1,272	1,164	832	795	684
8 月	1,331	811	827	1,111	1,144	298
9 月	963	872	797	1,232	818	295
10 月	775	1,463	1,179	1,192	904	366
11 月	949	1,240	950	1,064	1,085	325
12 月	761	1,302	1,420	1,139	879	287
1 月	623	1,052	1,183	841	841	362
2 月	861	1,025	1,080	1,181	641	1,343
3 月	337	731	1,099	1,258	752	897
計	10,738	13,575	13,132	12,251	10,612	4,857

※ いずれも「3 月」の数値は 3 月 20 日時点のデータで集計を行った。

## イ メールマガジンの作成及び発行

- 収集した公募・助成金情報、イベント情報等を整理し、毎月第 2 火曜日発行のメールマガジンに掲載し、次の通り、定期配信を行った。
- なお、発行済みメールマガジンのバックナンバーは、EPO 中部ウェブサイトに掲載しており、閲覧が可能である。<https://www.epo-chubu.jp/mail-magazine>

月	号	発行日	発行部数	記事数・計	掲載記事数				
					冒頭部	イベント 関連	ツール・コン テンツ	助成金・ 表彰等	その他
4月	154号	4/12	740	24	0	7	4	7	6
5月	155号	5/10	741	26	0	13	4	8	1
6月	156号	6/14	740	28	0	13	5	10	0
7月	157号	7/12	739	30	1	14	1	13	1
8月	158号	8/9	739	24	2	8	1	9	4
9月	159号	9/13	737	29	1	11	3	13	1
10月	160号	10/11	735	25	2	12	1	10	0
11月	161号	11/8	735	24	5	8	1	10	0
12月	162号	12/13	739	24	3	10	0	10	1
1月	163号	1/10	742	21	3	11	1	4	2
2月	164号	2/14	745	20	3	9	2	6	0
3月	165号	3/14	746	15	1	5	3	5	1
計				290	21	121	26	105	17

※ 「冒頭部」の記事は、中部地方環境事務所及びEPO中部の主催イベント等お知らせ記事となっている。

## ウ リーフレットの配布

- 2022年4月にEPO中部／中部地方ESD活動支援センターのリーフレットを300部印刷し、業務の打合せ時や、相談・照会、情報収集等のためEPO中部施設を来訪した来館者へ配布を行った。（※リーフレットは前年・2021年度の作成原稿を引き続き使用した。）
- 2023年2月時点でリーフレットの在庫がほぼなくなったことから、300部を増刷したうえで、引き続き、イベント開催時等において配布を行った。

## (2) 相談対応・対話の場づくり等

- EPO中部もしくは中部地方ESD活動支援センターへの相談に対し、面談打合せや資料・情報収集、マッチング作業、連絡・調整などの対応を行った。その照会・相談等の案件数は、次表の通りである。

※ 以降の「3月」の件数は、いずれも3月20日時点で集計を行った数値である。

【照会・相談・打合せ対応件数】

区分	ア 照会・相談対応						イ 対話の体制の構築		ア+イ 対応件数 総計
	①相談に対し支援対応 等を行った案件の事例 件数※1	照会・相談対応等の延 べ件数 (左記①案件事例への対 応延べ件数も含む)	※2			③メール・電話に よる相談(広報依頼 等) 延べ件数※2	(ア)会議・セミナー等 地域活動への招聘	(イ)その他打合せや地 域主体との意見交換等	
			来館件数	②相談・照会、 資料配架依頼等	会議利用				
4月	3	26	11	7	4	15	1	4	31
5月	7	23	4	3	1	19	2	12	37
6月	7	27	8	8	0	19	4	6	37
7月	1	21	9	4	5	12	5	6	32
8月	2	11	6	3	3	5	8	5	24
9月	7	21	2	1	1	19	9	10	40
10月	1	17	6	3	3	11	7	6	30
11月	3	20	4	2	2	16	4	8	32
12月	2	24	8	2	6	16	8	11	43
1月	4	30	8	3	5	22	5	17	52
2月	1	19	6	4	2	13	6	11	36
3月	2	37	4	3	1	33	3	3	43
計	40	276	76	43	33	200	62	99	437

※1) 事例件数:最初の連絡から対応終了までの(その間の連絡・打合せ等を含めた)案件ごとにカウントした数となっている。

※2) 延べ件数:同じ案件・用件での来館、メール・電話等であっても、個別に回数をカウントした数となっている。

ア 照会・相談対応

①相談に対し(広報協力以外の)支援対応等を行った案件

- 相談に対し、EPO/ESD センターが何らかの支援対応等を行った案件数は下記の通りである。

【相談件数の合計、相談方法別件数】

	相談件数・計	相談方法			
		電話	メール	来所	その他
4月	3	0	2	1	0
5月	7	1	4	0	2
6月	7	1	3	1	2
7月	1	0	1	0	0
8月	2	1	0	1	0
9月	7	1	4	0	2
10月	1	0	0	0	1
11月	3	1	1	1	0
12月	2	1	1	0	0
1月	4	0	1	1	2
2月	1	0	0	1	0
3月	2	0	1	1	0
計	40	6	18	7	9

【相談主体別の相談件数】

	相談主体の分類							
	学校・教育機関	大学関係	自治体	その他行政機関	企業	NPO・NGO	その他事業主体	その他
4月	0	0	1	0	2	0	0	0
5月	0	1	1	0	1	2	2	0
6月	0	3	2	0	1	0	0	1
7月	0	0	0	0	0	0	1	0
8月	0	0	0	0	0	0	2	0
9月	1	1	2	1	0	0	2	0
10月	0	0	1	0	0	0	0	0
11月	2	1	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	1	0	0	1	0	0
1月	0	0	2	0	0	0	2	0
2月	0	0	0	0	1	0	0	0
3月	0	0	1	0	0	0	1	0
計	3	6	11	1	5	3	10	1

【相談に対し EPO が行った支援内容の件数】

	EPO による支援内容分類							
	SDGs の概説・事例紹介等	講師等人材紹介	教材・ツールの紹介・提供等	環境省事業・EPO 業務の問合せ回答	その他情報の提供	ESD・授業等教育関係の個別対応	イベント・会合ほか事業の企画運営	その他
4月	0	0	1	0	0	0	0	2
5月	0	0	0	1	0	5	1	0
6月	0	0	1	1	2	3	0	0
7月	0	0	0	0	0	1	0	0
8月	0	1	0	0	1	0	0	0
9月	2	3	0	0	1	0	1	0
10月	0	0	0	0	0	0	1	0
11月	0	0	0	0	1	1	1	0
12月	0	0	0	0	0	0	2	0
1月	0	1	0	0	1	0	0	2
2月	0	1	0	0	0	0	0	0
3月	0	1	0	0	0	0	0	1
計	2	7	2	2	6	10	6	5

【具体の相談内容と EPO による対応内容】

No.	受付日	相談者	相談内容	対応内容	事後報告
1	4月18日	企業	・依頼企業が主催する SDGs イベントに中部地方 ESD 活動支援センターも出展してほしいとの依頼があった。	・4/18 に電話で依頼があり、イベントの概要・出展要項等をメールで送付いただいた。 ・5/8 に来館して詳細について打合せを行い、中部地方環境事務所からの承諾を得たうえで出展に向けて進めていただくことになった。 ・5/12 に出展「申請書」を提出した。 ・8/24 イベント開催、ブース出展実施。	
2	4月27日	自治体	・東海市ゼロカーボン宣言についての意見交換	・ゼロカーボンや実行計画区域施策編について意見交換。東海市では今年度から策定作業を実施とのこと。必要があれば EPO の名前を使うなど連携を提案。	
3	4月28日	企業	・SDGs チェックリスト等について、PDF ファイル形式以外での提供は可能か。	・5/1 にエクセルファイル形式(記入箇所以外はロック)での提供が可能である旨メールで回答した。 ・5/10 に3種の SDGs チェックリストを入手希望である旨返信があり、メールによりエクセルファイル形式のチェックリスト(簡易版、基本段階版、事業所活用版)を提供した。	
4	5月9日	NPO・NGO	・愛知県の高校生のインターン受け入れの依頼。	・5/9 に電話で依頼の連絡があり、詳細資料をメールでいただいた。 ・5/10 電話で内容確認を行い、受け入れ先リストに EPO を掲載いただくことになった。 ・5/23 EPO に来館して詳細を打合せし、受け入れ方法について確認を行った。 ・6月に受け入れ学生2名決定の連絡があり、7月に2名のプロフィール等資料の到着。 ・8/23 オリエンテーション、8/24 アサヒ飲料主催・ブース出展の運営手伝い、他ブースの取材・記事作成、8/25 学び合いの場①の聴講・記事作成、8/26 内勤(作成記事仕上げ)を実施。	
5	5月13日	NPO・NGO	・8/10 開催の教員研修での WS 講師をお願いしたい。SDGs・ESD のワークショップを実施してほしい。	・派遣を了承。6月上旬に名古屋市と一緒に来所打合せ日程を調整。 ・6/1 の10時より来所。時間配分やワークショップの方法について協議。	・参加者の体調不良等により開催中止
6	5月20日	その他事業主体	・昨年度相談の講師派遣依頼、6/18 を9/17に変更してほしい。	・変更を了承。9/17に派遣	
7	5月20日	自治体	・例年同様ユネスコスクール支援会議に委員参加いただきたい	・6/14 開催会議への出席を了承	
8	5月24日	大学関係	・松本大学で大学院生に SDGs についてインプットしてほしい	・対応を了承。6~7月で日程を調整。 ・6/29 の10-12時に松本大学で実施	
9	5月24日	その他事業主体	・オンラインで地球温暖化や SDGs の話をしてほしい。	・対応を了承。6月27~28日で日程を調整。 ・6/28 の15-16時でオンライン登壇確定。演題案「地球温暖化の視点から SDGs 社会を考える」	
10	5月31日	企業	・ESD 拠点登録の方法、メリットについて教えてほしい。	・全国センターの該当 Web ページをお知らせ。 ・登録により Web ページに掲載、ネットワークの一員であること、当センター企画中の交流会にお声がけするので、ぜひ登録を、とお伝え。	・その後、全国センターに登録申請あり。登録完了。
11	6月1日	その他	・環境省管轄のペットのチップについてどこに問い合わせればよいか。	・取り扱っている獣医師会に問い合わせるよう回答	

No.	受付日	相談者	相談内容	対応内容	事後報告
12	6月8日	企業	・浄化槽管理している会社だが、省エネ提案できるようにしたい。	・個別技術は省エネセンターなどで情報を探そう回答。勉強するならエネルギー管理士などの専門家に個別に依頼するよう助言。	
13	6月9日	自治体	・環境課として施策の展開を今後どうするか、ゼロカーボンやSDGsを踏まえて意見交換がしたい。	・6/14の10:00に課長、係長が来所し、意見交換をする場を設定。 ・意見交換を実施。持続可能性の理念を基盤に、市役所のみならず、市民や事業者、外部の専門家などとの協働が重要であることなど認識共有。	
14	6月9日	大学関係	・学生のSDGs研究発表会でコメントをいただけないか。	・候補日のうち7/6の15:00～16:20で対応可能と回答。 ・オンラインで対応	
15	6月13日	大学関係	・飯田市で7/30に考えているSDGsイベントで話題提供等協力をいただけないか。	・対応を了承。またEPO中部として後援することで協力することとする。 ・10月から月2回開催する勉強会に可能な範囲で参加することとした。	
16	6月28日	大学関係	・日本ユネスコエコパーク総会に出席するにあたり、ESD支援体制の一つとしてESD推進ネットワークも紹介したい。関連資料の提供をいただけないか。	・公開資料の図等についてメールで送付	
17	6月30日	自治体	・中小事業者向けの温暖化対策のきっかけ作りの講演をお願いできないか	・対応を了承。SDGsと絡めて脱炭素と省エネについて7月28日のセミナーで登壇する。	
18	7月1日	その他事業主体	・9/29開催推進員研修のWSサポートをお願いできないか	・対応を了承、WSサポートを行うこととする	
19	8月2日	その他事業主体	・1月に開催予定の行政職員と推進員対象の気候変動フォーラムについて、予定していた演者に依頼できず、代わりの登壇者について紹介してほしい。	・ゼロカーボンの取組をまちづくりとして行っている飯田市職員の話提供を提案、マッチングを実施した。 ・フォーラムの後半にトークセッションを提案し、EPOよりコーディネーターを派遣することとした。 ・8/24にフォーラム基調講演の登壇者を打合せ。	
20	8月15日	その他事業主体	・自治体による脱炭素関連調査事業で、中部地方環境事務所、他県の協働コーディネーターとの情報交換を実施したため、その取り次ぎをEPOに依頼したい。	・8/15に電話にて連絡があり、8/19にメールで中部地方環境事務所宛て、協働コーディネーター宛ての依頼文をいただく。 ・8/22定例打合せで中部地方環境事務所に趣旨を説明し、脱炭素担当者への取り次ぎを依頼。 ・8/25EPOへ来館し、脱炭素、温暖化対策に関わる情報交換を実施。依頼文の修正について確認のうえ、同日に協働コーディネーターへ依頼文をメールで送信。(調査協力の可否についての連絡は、相談者へ直接返信することになっている。) ・10/26事務所とのヒアリング日程調整をEPOが仲介。11/2に事務所にてヒアリング実施予定との連絡あり。ヒアリング項目も参考までにとEPOへも送付。	
21	9月7日	その他事業主体	・愛知県地球温暖化防止活動推進センターのセミナーに話題提供してほしい	・10/19岡崎、11/4西尾、11/9みよしについて中小企業向け省エネセミナーで、SDGsについて話題提供を了承	
22	9月8日	自治体	・大府市で作成する企業向け啓発動画に出演してほしい	・対応を了承 ・内容を協議、10/20収録了承	

No.	受付日	相談者	相談内容	対応内容	事後報告
23	9月9日	自治体	・教員や出前授業実施事業者向けに企画中の協働授業づくり研修について、講師の人材を紹介していただけませんか。 ・実施の際にはPRに協力願えないか。	・9/9に電話で企画趣旨等をヒアリング、ESDC スタッフは派遣可能と回答。 ・実施時のPRについては対応を了承。	
24	9月10日	大学関係	・環境教育学会で議論をした関係でオンライン「次世代SDGs研究会」で話題提供をしてほしい。	・9/24開催の研究会にてSDGsチェックリストを題材に発表討論を行うこととした。	
25	9月13日	学校・教育機関	・協議会の令和4年度の委員に委嘱したい。	・委嘱を了承	
26	9月20日	その他事業主体	・愛知県私立高校より講師派遣依頼	・11/7の学年授業についてエネルギーなど環境の授業実施を了解 ・10/18EPO 中部で打合せ	
27	9月29日	その他行政機関	・錦SDGsWEEKs2022への企画参加の依頼	・9/29昨年度に続いて今年度も錦SDGsWEEKsに企画参加してほしいとの連絡を以前からいただいており、主催(まちづくり会社)からの連絡の有無、参加の最終確認などの連絡があった。 ・参加する旨をお伝えし、今年度も「スモールゼミSDGs」とEPO施設内の配架コーナーでのSDGs資料入手のPRを行うことになり、宣材等を主催者へ送付した。 ・10/5に広報チラシ完成の連絡が主催者からあった。(WEBサイト等での広報は展開されていなかった。) ・10/13WEBサイトでの広報が開始されたことをうけて、EPOも「スモールゼミ」の参加者募集広報を展開した。 ・10/31参加者3名で、スモールゼミを実施した。	・スモールゼミ参加者の一人が、後日、EPO中部のFacebookをフォローしてくれた。
28	10月3日	自治体	・愛知県地球温暖化防止活動推進センターの豊田市中心小企業向け省エネワークショップ(12/19)の企画に助言がほしい	・企画について協力 ・当日ファシリテーターとして協力	
29	11月1日	大学関係	・環境教育学会中部支部年次大会を2月に四日市市で開催するにあたり、シンポジウム企画のアドバイスがほしい	・四日市市に本拠を置くESD地域拠点を紹介 ・四日市公害と環境未来館を会場とするので博物館や動植物園等の環境学習の役割を考えるなどの方向性をアドバイス ・企画が進んだ時にはEPO中部の連携可能性について再度相談 ・当面の計画書を作成した旨連絡あり ・今後の連携については中部支部で検討の上必要に応じて相談したいとのこと	・2/26開催の学会主催シンポジウムにて四日市市の地域ESD拠点の団体代表がコメントーターで登壇
30	11月4日	学校・教育機関	・北陸ユネスコスクール実践交流会のオンライン開催12/3で開会挨拶をお願いしたい。	・対応を了承。	
31	11月14日	学校・教育機関	・次年度のカリキュラムで環境関係のコースを導入するのでアドバイスが欲しい	・ESDやSDGsの背景について説明。所内掲示資料等を紹介。 ・付近の河川を題材にということであれば、流域概念や生物、水利用や防災などへの展開も考えら	

No.	受付日	相談者	相談内容	対応内容	事後報告
				れることを助言 ・12/13に2回目の意見交換を実施	
32	12月2日	自治体	・2月に開催予定の市町村環境教育の研修会について相談したい	・12/7日午前にEPOに来所相談をセット ・来所打合せ、企画内容を検討、2月28日の研修会の講演とワークショップについて講師を派遣することとする	
33	12月7日	NPO・NGO	・2月にNPOネットワークの会合でEPO中部に訪し、交流事業を実施したい。	・12/7にメールで依頼があり、受け入れ可能と返信。 ・1/5にメールにて2/9来館の連絡あり。 ・2/9NPOネットワーク6名が来館し、EPOの紹介、地域循環共生圏・OECMについての説明を行ったほか、環境活動、中間支援に関する情報交換を行った。	
34	1月10日	自治体	・5月開催の河川関連のシンポジウムでパネリスト登壇をお願いしたい。	・1/10来館されて、5月末開催のシンポジウムでのパネリスト登壇を依頼され、了解した。まだテーマ設定等がこれからとのことで、詳細が決まりしだい(決まらなくても)連絡をいただけるとのこと。 ・1/16に来館、シンポジウム登壇依頼と打合せ、パネルディスカッションのコーディネーター依頼を承諾	
35	1月12日	その他事業主体	・2月23日のイベントに地域ESD拠点ネクストステップの活動紹介をお願いできるか。	・同じ地域ESD拠点としての連携を進めるため電話連絡、主催者から参加依頼。	
36	1月19日	その他事業主体	・地球温暖化活動推進センターの第2回中部ブロック会議1/26にEPO中部の情報提供をしてほしい	・対応を了承、中部地方ESD活動支援センターの今年度の取組をベースに情報提供をオンラインで15~20分程度実施	
37	1月26日	自治体	・来年度のプロポーザル選定委員を依頼したい	・1/30に来所、内容の説明をいただき、選定委員派遣を了承。 ・評価は書類審査で行う旨承諾 ・事業提案の評価方法、評価基準について意見交換。	
38	2月7日	企業	・会社の新規事業として「農業・食・環境」をテーマにした体験学習を展開したいが、ネットワークづくりや体験学習(授業)をしてもらえる人材(探し)など、対面で相談して情報をいただきたい。	・2/7に電話があり、対面相談の日程調整を行った。 ・2/15に来所し、今後オープン予定の環境教育施設について説明していただき、施設で実施する環境教育プログラムの企画・講師等で連携できる団体・人材の紹介について相談をうけた。自治体の環境教育プログラムの登録制度などを紹介したほか、ESD、ゼロカーボン、地域循環共生圏等についての情報提供も行った。	
39	3月16日	その他事業主体	・あいち環境塾の中級コースR5年度にて受講者向けに「コマ」地域循環共生圏について講演をお願いしたい。	・今年度同様派遣を了承。 ・日程については別途調整する。	
40	3月17日	自治体	・環境配慮行動促進事業についてプロポーザル委員をお願いしたい	・委員就任を了承。 ・事業内容とスケジュールについて確認。	

## ②来館による相談・照会、資料配架依頼等

月	件数	相談・問合せ内容
4月	7件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体にEPO紹介</li> <li>・環境教育関連セミナーの広報依頼</li> <li>・セミナーチラシ配架依頼及び情報収集</li> <li>・一般の方から寄付金/過払金に関する相談</li> <li>・GEOCとの情報交換</li> <li>・自治体との諮問委員依頼と情報交換</li> <li>・情報収集</li> </ul>
5月	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業からSDGs関連イベントに係る相談</li> <li>・高校生インターン受入れに係る相談</li> <li>・資源循環に関する情報交換</li> </ul>
6月	8件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藤前干潟教員向けプログラム講演依頼内容打合せ</li> <li>・自治体とSDGsとゼロカーボンについての意見交換</li> <li>・環境学習コーディネーター事業について打合せ</li> <li>・NPOとの情報交換</li> <li>・関係機関との情報交換</li> <li>・情報収集(3件)</li> </ul>
7月	4件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境イベントチラシ配架依頼</li> <li>・情報収集</li> <li>・JCOCAとの情報交換</li> <li>・環境省の備品確認</li> </ul>
8月	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターン(高校生受入)(2件)</li> <li>・協働コーディネーターとの情報交換</li> </ul>
9月	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計業者による施設確認</li> </ul>
10月	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・錦2丁目SDGs WEEKs(資料収集)</li> <li>・全国温暖化防止活動推進センターの方がご挨拶</li> <li>・錦2丁目SDGs WEEKs(スモールゼミ)</li> </ul>
11月	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集(2件)</li> </ul>
12月	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体と環境教育研修会についての相談</li> <li>・脱炭素についての情報収集</li> </ul>
1月	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体から水環境関連のシンポジウムへのパネリスト登壇に関する相談(2件)</li> <li>・自治体からSDGsまちづくり推進事業の企画提案に対する評価委員の依頼について</li> </ul>
2月	4件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計検査(施設視察)</li> <li>・協働コーディネーター及びNPOネットワーク団体との情報交換</li> <li>・広報協力依頼(チラシのお届け)</li> <li>・農業体験施設で実施する環境教育プログラム・講師についての照会</li> </ul>
3月	3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集(2件)</li> <li>・自治体から環境配慮行動促進事業の企画提案に対する評価委員の依頼</li> </ul>
<b>計</b>	<b>43件</b>	

## ③メール・電話による相談、問合せ、広報依頼等

月	件数	相談・問合せ内容
4月	15件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規PF採択団体からの問合せ電話</li> <li>・自治体から環境イベント実行委員会開催についての電話</li> <li>・企業から環境学習推進事業の広報PRについて相談のメール</li> <li>・企業から助成金事業の情報掲出依頼のメール</li> <li>・企業から助成金事業のメルマガ掲載依頼のメール</li> <li>・企業から広報PR原稿について問合せのメール</li> <li>・企業からSDGsイベントへの出展の依頼の電話</li> <li>・自治体から生物多様性に関する制度の広報依頼の電話</li> <li>・企業から環境保全助成金の募集について広報依頼の電話</li> <li>・自治体から温暖化対策協議会の委員に係る相談のメール</li> <li>・一般社団からSDGs関連資料について問合せの電話</li> <li>・NPO法人から環境ボランティア募集について広報依頼のメール</li> <li>・県環境学習講師募集の広報協力依頼のメール</li> <li>・財団から支援事業について広報協力依頼の電話</li> <li>・企業からSDGsチェックリストについて問合せのメール</li> </ul>

月	件数	相談・問合せ内容
5月	19件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO 法人から高校生のインターンシップ受入について相談の電話 (2件)</li> <li>・ 自治体から環境課題を解決する学生の募集について広報依頼のメール</li> <li>・ 自治体からユネスコスクール支援会合に関する依頼についての電話</li> <li>・ 金融機関から環境関係の助成金について広報依頼のメール</li> <li>・ 企業から SDGs イベント出展の資料メール</li> <li>・ 自治体からユネスコスクール支援会合の日程調整の電話</li> <li>・ NPO からオンライン講座等の広報依頼の電話</li> <li>・ NPO 法人から高校生のインターンシップ受入の相談日程調整についてのメール</li> <li>・ NPO 法人から教員向け研修の講師依頼についてのメール</li> <li>・ 産業廃棄物の法令順守・行政指導に関する問合せの電話</li> <li>・ NPO 法人から (別の) 高校のインターンシップ受け入れの可否についての電話連絡</li> <li>・ 企業から SDGs 資料の閲覧・入手の可否についての確認の電話</li> <li>・ 企業から生物多様性関連事業について広報依頼のメール</li> <li>・ 企業から生物多様性関連事業について画像提供と原稿確認のメール</li> <li>・ ESD 関連の刊行物について問合せの電話</li> <li>・ 一般社団法人からツール (マニュアル・報告書) 公開について広報依頼のメール</li> <li>・ 公益社団法人からオンラインイベントについてメルマガ掲載依頼のメール</li> <li>・ 企業から ESD 拠点登録について質問の電話</li> </ul>
6月	19件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般の方からペットのマイクロチップに関する問合せの電話</li> <li>・ 2014 年度発行 ESD 冊子についての問合せ</li> <li>・ 大学関係者から web 掲載記事について加筆修正依頼のメール</li> <li>・ 一般社団法人から脱炭素シンポジウムについて周知依頼のメール</li> <li>・ 自治体から協議会委員の推薦依頼についてのメール</li> <li>・ 公益財団法人から里地モニタリング調査の広報協力についてのメール</li> <li>・ NPO 法人から高校のインターンシップ受入に関する実施要項の内容確認についてのメール</li> <li>・ NPO 法人から助成金の応募について広報依頼のメール</li> <li>・ 環境関係団体から顕彰事業、研究者募集等の事業についてメルマガ掲載依頼のメール</li> <li>・ 公益財団法人からメルマガジン掲載号について要望のメール</li> <li>・ 大学から SDGs 未来都市の分析結果報告会への協力依頼メール</li> <li>・ 運営委員から自治体による SDGs イベントへ協力の可否についての問合せ電話</li> <li>・ 環境関係団体からシンポジウムの広報協力について依頼のメール</li> <li>・ 公益財団法人から web 掲載チラシ差替依頼のメール</li> <li>・ 自治体からメルマガ配信先変更についてのメール</li> <li>・ 自治体からイベント広報協力依頼の電話</li> <li>・ 経済団体から SDGs 取組に関わる相談について問合せの電話</li> <li>・ 金融機関から企業の SDGs 相談受付についての問合せの電話</li> <li>・ NPO からボランティア募集の広報協力依頼のメール</li> </ul>
7月	12件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治体から地球温暖化防止対策にかかる協議会開催についてのメール</li> <li>・ NPO 法人から高校生インターンシップ受入に関する資料についてのメール</li> <li>・ インターンシップの高校生から挨拶等の電話</li> <li>・ 自治体から地球温暖化対策実行計画協議会に関するメール (2件)</li> <li>・ 企業からフォーラム展示会 (出展) に関するメール</li> <li>・ 一般社団法人から省エネ関連イベントについて広報依頼のメール</li> <li>・ 企業からフォーラム登壇依頼の電話</li> <li>・ 企業からフォーラムのブース出展に関する資料提供等のメール</li> <li>・ 企業からフォーラムのブース出展に関する確認の電話</li> <li>・ 企業から太陽光発電設備のカーポート設置の補助金について問合せの電話</li> <li>・ 企業からフォーラムの入場登録等に関する電話</li> </ul>
8月	5件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協働コーディネーターから自治体の脱炭素関連事業への協力依頼の電話</li> <li>・ 主催イベント申込方法について問合せの電話</li> <li>・ 協働コーディネーターから自治体の脱炭素関連事業への協力依頼のメール</li> <li>・ 協働コーディネーターから来館について問合せの電話</li> <li>・ 主催イベントの資料について問合せの電話</li> </ul>
9月	19件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公益財団法人から助成金募集の広報依頼のメール</li> <li>・ ほかの地方 EPO からの問合せ電話</li> <li>・ 公益財団法人から事業広報依頼のメール</li> <li>・ 公益財団法人から情報提供のメール</li> <li>・ 自治体から環境イベントの報告等についてのメール</li> <li>・ 中学校から公開動画に関する問合せのメール</li> <li>・ 自治体から OECM について問合せの電話 (2件)</li> </ul>

月	件数	相談・問合せ内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人から人材育成事業募集の広報先にかかる相談の電話</li> <li>・国交省の補助金についての問合せ電話</li> <li>・地域協働による教育関係の講師照会の問合せメール</li> <li>・NPO から気候マーチ開催についてご案内のメール</li> <li>・NPO 法人から助成金関連セミナーについて広報協力依頼のメール</li> <li>・行政機関から自然保護関係職員募集について広報協力依頼のメール</li> <li>・行政機関からエシカル関係者紹介の依頼メール</li> <li>・自治体から OECM について問合せ</li> <li>・自治体から SDGs イベントの企画協力についての依頼の電話・メール</li> <li>・主催イベント申込確認・取消の電話</li> <li>・NPO 法人からボランティア募集について広報協力依頼のメール</li> </ul>
10月	11件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催イベント申込について取消連絡のメール</li> <li>・公益財団法人から自然保護に関する助成金募集について情報提供のメール</li> <li>・主催イベント出席者変更に関するメール</li> <li>・公益社団法人から助成金事業の広報協力依頼のメール</li> <li>・公益社団法人から web 掲載内容修正依頼のメール</li> <li>・公益財団法人から催事広報協力依頼のメール</li> <li>・社会福祉法人から助成事業について広報協力依頼のメール</li> <li>・自治体から白書を読む会のブログ記事、録画動画の公開に向けた内容確認の依頼メール</li> <li>・自治体から SDGs イベントの集客相談の電話</li> <li>・協働コーディネーターから環境省への脱炭素ヒアリングの日程調整の依頼電話・メール</li> <li>・企業から脱炭素×協働をテーマにしたイベントでの普及啓発ツールの入手について相談の電話</li> </ul>
11月	16件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働コーディネーターから中部事務所ヒアリング項目についてメール報告</li> <li>・関東 ESD センターから学生サミットの登壇学生募集についての問合せ電話</li> <li>・11/8OECM 情報交換会の出席者からの電話問合せ (2件)</li> <li>・NPO 法人から中学生の職場訪問プログラムについて相談のメール</li> <li>・自治体から共催イベントの動画、ブログ記事アップのお知らせメール</li> <li>・一般の方から太陽光パネル (メリット・デメリット) について問合せの電話</li> <li>・自治体から環境関連イベントについて web 掲載依頼の電話とメール</li> <li>・自治体から生物多様性登録制度の広報協力と登録依頼</li> <li>・一般の方からごみ分別について問合せの電話</li> <li>・公益財団法人から訪問希望について問合せの電話とメール</li> <li>・企業から SDGs 関連行事について告知協力依頼の電話とメール</li> <li>・主催イベント申込について問合せの電話 (2件)</li> <li>・企業から SDGs 関連行事について掲示資料送付のメール</li> <li>・自治体から環境関連研修について広報協力依頼のメール</li> </ul>
12月	16件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域 ESD 拠点団体から主催フォーラムについての問合せ電話</li> <li>・公益財団法人から里地調査関連催事について広報協力依頼のメール</li> <li>・企業から環境保護助成金について広報協力依頼のメール</li> <li>・自治体から環境学習の研修会講師について問合せの電話</li> <li>・大学から主催イベントエントリーについて問合せの電話とメール</li> <li>・協働コーディネーターから環境団体との交流会について依頼メール</li> <li>・大学から主催イベントエントリーについてメール</li> <li>・自治体から主催セミナーについての問合せ電話</li> <li>・大学生から SDGs 学生サミット事前打合せについてメール (2件)</li> <li>・主催イベント申込者から問合せの電話</li> <li>・公益財団法人から助成金事業について広報協力依頼のメール</li> <li>・イベント協力者 (ジオパーク協議会) からオンライン配信の方法で問合せ電話</li> <li>・独立行政法人から催事広報協力依頼のメール</li> <li>・任意団体から表彰事業 (環境省国民運動に登録) について広報協力依頼のメール</li> <li>・NPO から募集事業の締切延長について広報協力依頼のメール</li> </ul>
1月	22件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働コーディネーターから脱炭素ミーティング参加依頼のメール</li> <li>・協働コーディネーターから交流会のご案内メール</li> <li>・地球温暖化防止活動推進員から SDGs チェックリストの無償配布及びデータ提供について問合せのメール</li> <li>・自治体から施設利用について問合せの電話</li> <li>・企業から主催催事について問合せの電話</li> <li>・自治体から催事のパネリスト登壇にかかる説明の訪問日程について相談のメール</li> <li>・NPO から主催講座についてメルマガ掲載依頼のメール</li> </ul>

月	件数	相談・問合せ内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般財団法人からオンライン会議の催事について案内及び周知依頼のメール</li> <li>・主催イベント申込について問合せの電話</li> <li>・主催イベント申込者から参加方法等に関する問合せのメール(6件)</li> <li>・主催イベントの録画公開に関する問合せのメール</li> <li>・主催イベントの後日公開に関する問合せのメールと電話(2件)</li> <li>・自治体からSDGs関連の相談の電話</li> <li>・自治体からSDGs関連事業の評価に関する相談のメール</li> <li>・企業から主催イベントの閲覧資料に関する問合せのメール</li> <li>・企業から主催イベント録画の事後配信に関する問合せの電話</li> </ul>
2月	13件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催イベントについて共催機関からの問合せ電話</li> <li>・PF事業令和5年度公募に対する問合せ電話</li> <li>・自治体から川の流域連携シンポジウムの企画相談に関するメール</li> <li>・企業から主催イベント録画公開について問合せの電話とメール(2件)</li> <li>・公益財団法人から主催イベントの広報協力依頼の電話</li> <li>・ESD関連団体から施設の英語表記に関する照会のメール</li> <li>・企業から環境関連の体験学習について相談・来館希望の電話</li> <li>・新聞社からOECMについての問合せの電話</li> <li>・PF団体から提出物についての問合せ電話(2件)</li> <li>・自治体から後援名義使用の催事に関する案内のメール</li> <li>・自治体からシンポジウムコーディネーター依頼に関するメール</li> </ul>
3月	33件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の方からESDセンターに関する質問の電話</li> <li>・金融機関から主催セミナー資料について問合せのメール</li> <li>・金融機関から主催セミナーについて問合せの電話・メール(3件)</li> <li>・企業から主催セミナーについて問合せのメール(3件)</li> <li>・NPOから助成事業について広報依頼のメール</li> <li>・一般の方から工事の騒音・ダスト発生の場合の対応についての問合せの電話</li> <li>・行政から主催セミナーについて問合せの電話</li> <li>・企業から主催セミナー申込について問合せのメール(2件)</li> <li>・セミナー視聴に関する問合せのメール及び電話(17件)</li> <li>・企業から主催フォーラムについて広報協力依頼の電話</li> <li>・EPO東北から、EPO中部来訪の日程調整の電話</li> <li>・EPO九州から、愛知県内の企業からのSDGs・同時解決等の概説依頼についての連絡(電話・メール)</li> </ul>
<b>計</b>	<b>200件</b>	

## イ 対話の体制の構築

### (ア) 会議・セミナー等地域活動への招聘

- EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センターが自治体・団体等から招聘された会議等は次表の通りである。
- 会議出席のほか、講師としての登壇など、関係主体の依頼に対し適宜対応した。
- これらの会議等への出席を通じて、地域での協働体制の構築及びノウハウの蓄積を行った。なお、開催地域については事務所担当官に報告し、調整を行った。

県区分	開催日	依頼主体等	依頼事業の名称	依頼／対応内容	方法	謝金	
1	愛知	4月14日	名古屋市環境局環境企画部環境企画課	「環境デーなごや」実行委員会	委員	対面	あり
2	愛知	5月13日	名古屋市環境局環境企画課施策推進係	SDGs まちづくり推進事業支援業務委託プレゼンテーション	事業プロポーザル評価委員	対面	あり
3	愛知	5月19日	名古屋市環境局環境企画課施策推進係	木材の利用促進事業プレゼンテーション	事業プロポーザル評価委員	オンライン	あり
4	愛知	6月14日	愛知県教育委員会社会教育課	愛知県ユネスコスクール支援会議	委員	対面	あり
5	その他	6月23日	ESD 活動支援センター(全国センター)	第1回運営委員会	委員	オンライン	なし
6	愛知	6月28日	愛知県環境測定分析協会	環境月間講演会	講師	オンライン	あり
7	長野	6月29日	松本大学田開研究室	外部講師授業	講師	対面	あり
8	その他	7月6日	専修大学岩尾研究室	SDGs研究学生発表会	コメンテーター	オンライン	あり
9	愛知	7月21日	東海市ゼロカーボン戦略室	東海市地球温暖化対策実行計画協議会	委員	対面	あり
10	中部	7月27日	地球温暖化防止活動推進センター	地球温暖化防止活動推進センター中部ブロック会議・研修会	EPO 中部説明登壇	オンライン	なし
11	愛知	7月28日	岡崎市、岡崎商工会議所	脱炭素経営セミナー	講演	対面	あり
12	長野	7月30日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 指標を用いた学習会イベント	話題提供者	対面	なし
13	愛知	8月8日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	事業者支援調整連絡会(豊田市省エネ)	会議メンバー	対面	あり
14	長野	8月20日	信州 ESD コンソーシアム	令和4年度総会	メンバー	オンライン	なし
15	愛知	8月23日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	豊田省エネプレセミナー	話題提供者	対面	あり
16	愛知	8月24日	アサヒ飲料中部北陸支社	SDGs 将来世代創造フォーラム	出展	その他	なし
17	愛知	8月24日	アサヒ飲料中部北陸支社	SDGs 将来世代創造フォーラム	学生取組、弁論大会の講評	対面	なし
18	その他	8月27日	日本環境教育学会	日本環境教育学会 第33回年次大会 公開シンポジウム	シンポジウム参加	対面	なし
19	その他	8月28日	日本環境教育学会	日本環境教育学会 第33回年次大会 研究発表、研究集会	口頭発表、研究集会参加	対面	なし
20	愛知	8月29日	大府市環境課	中小企業向け省エネセミナー	講師	対面	あり
21	その他	9月7日	全国温暖化防止活動推進センター	JCCCA オンラインセミナー	セミナー参加	オンライン	なし
22	愛知	9月12日	大府市環境課	中小企業向け省エネセミナー	講師	対面	あり
23	愛知	9月17日	名古屋産業科学研究所	あいち環境塾中級講座	講師	対面	あり
24	中部	9月22日	温暖化防止活動推進センター中部ブロック	脱炭素経営セミナー・事業者の脱炭素経営入門	セミナー参加	オンライン	なし
25	その他	9月24日	日本環境共生学会	公開シンポジウム「都市と気候変動」	シンポジウム参加	オンライン	なし
26	その他	9月25日	日本環境共生学会	日本環境共生学会 2022 年度学術大会	口頭発表、発表会参加	対面	あり
27	その他	9月24日	次世代 SDGs 研究会事務局	次世代 SDGs 研究会	話題提供者	オンライン	なし
28	石川	9月27日	北陸 ESD 推進コンソーシアム	令和4年度第1回北陸ESD推進連絡協議会	委員	オンライン	なし
29	愛知	9月29日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	愛知県地球温暖化防止活動推進員研修	ワークショップサポート	対面	あり
30	愛知	10月7日	あいち SDGsEXPO 実行委員会	あいち SDGsEXPO	展示会参加	対面	なし
31	長野	10月7日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 地域づくり学習会第1回	話題提供者	対面	なし
32	愛知	10月11日	東海市ゼロカーボン戦略室	東海市地球温暖化対策実行計画協議会	委員	対面	あり

	県区分	開催日	依頼主体等	依頼事業の名称	依頼/対応内容	方法	謝金	
	33	愛知	10月19日	岡崎市、岡崎商工会議所	岡崎市中小企業省エネセミナー	話題提供者	対面	あり
	34	愛知	10月20日	大府市環境課	中小企業向け省エネ啓発動画収録	話題提供者	対面	あり
	35	長野	10月21日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 地域づくり学習会第2回	勉強会参加	対面	なし
	36	その他	10月27日	北海道 ESD 活動支援センター	気候変動教育勉強会第8回	セミナー参加	オンライン	なし
	37	愛知	11月2日	西尾市環境保全課	中小企業のための省エネ実践セミナー	話題提供者	対面	あり
	38	長野	11月4日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 地域づくり学習会第3回	勉強会参加	対面	なし
	39	愛知	11月7日	学校法人愛知江南学園誠信高校	環境問題について授業	講師	対面	あり
	40	愛知	11月9日	みよし市ゼロカーボン推進室	企業・事業所のための省エネ実践セミナー	話題提供者	対面	あり
	41	長野	12月2日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 地域づくり学習会第5回	勉強会参加	対面	なし
	42	愛知	12月2日	名古屋市長極楽小学校トワイライトスクール	子ども省エネ教室	講師	対面	あり
	43	石川	12月3日	北陸 ESD 推進コンソーシアム	北陸ユネスコスクール実践交流会	開会挨拶	オンライン	なし
	44	愛知	12月13日	愛知県教育委員会社会教育課	愛知県ユネスコスクール支援会議第2回	委員	対面	あり
	45	愛知	12月13日	中部圏 SDGs 広域プラットフォーム	第3回 SDGs フェスティバル in 名古屋丸の内	セミナー参加、展示会視察交流	対面	なし
	46	長野	12月16日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 地域づくり学習会第6回	勉強会参加	対面	なし
	47	長野	12月17日	中部大学国際 GIS センター	エコハウス金山デッキ見学会(茅野市所在)	視察会参加	対面	なし
	48	愛知	12月19日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	豊田市脱炭素スクールオープン講座:エネルギー高騰対策を考える省エネ実践手法体感講座	話題提供、ワークショップファシリテーター	対面	あり
	49	長野	1月6日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 地域づくり学習会第7回	勉強会参加	対面	なし
	50	愛知	1月19日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	気候危機対策交流フォーラム「未来に向けた地域づくりを考える」	トークセッションコーディネーター	対面	あり
	51	長野	1月20日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 地域づくり学習会第8回	勉強会参加	オンライン	なし
	52	中部	1月26日	全国地球温暖化防止活動推進センター	地球温暖化活動推進センター第2回中部ブロック会議	話題提供者	オンライン	なし
	53	長野	1月27日	松本大学田開研究室	ローカル SDGs 地域づくり学習会第8回	勉強会参加	対面	なし
	54	愛知	2月10日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	愛知県地球温暖化防止調整会議	会議メンバー	対面	なし
	55	愛知	2月15日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	事業者支援調整連絡会(豊田市省エネ)	会議メンバー	対面	あり
	56	愛知	2月23日	「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクト」推進委員会	いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクト～地域対話フォーラム 2023 in Aichi ～	フォーラム参加	対面	なし
	57	三重	2月26日	日本環境教育学会中部支部	公開シンポジウム	シンポジウム参加	対面	なし
	58	三重	2月26日	日本環境教育学会中部支部	実践研究発表会	実践研究発表	対面	なし
	59	愛知	2月28日	愛知県環境局環境政策部環境活動推進課環境学習グループ	環境学習の普及・定着に向けた市町村職員研修会	講師、ワークショップファシリテーター	対面	あり
	60	愛知	3月3日	半田市市民経済部環境課	中小企業向け省エネセミナー:演題「SDGs時代の脱炭素経営」	講師	対面	あり
	61	愛知	3月4日	半田市市民経済部環境課	エコライフセミナー「気候危機とライフスタイルを考える!」	講師	対面	あり
	62	愛知	3月10日	半田市市民経済部環境課	中小企業向け省エネセミナー:演題「SDGs時代の脱炭素経営」	講師	対面	あり

## (イ) そのほか打合せや地域主体との意見交換会等の実施

- セミナー・フォーラム等の主催行事を実施する際には、関係自治体や関係団体等を訪問し、意見交換・情報交換、及び相談対応等を行った。

	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容	
	1	石川	4月20日	PF 七尾(ななお SDGs スイッチ)	面談	PF 事業の打合せ
	2	その他	4月22日	GEOC	面談	新スタッフの挨拶、業務の情報交換
	3	中部	4月27日	中部地方環境事務所 自然統括(企画官)	面談	森里川海ネットワーク形成会合の打合せ
	4	愛知	4月28日	なごや環境大学、中部地方環境事務所	面談	環境白書を読む会の打合せ
	5	愛知	5月6日	アサヒ飲料(株)	面談	展示会イベントの意見交換
	6	その他	5月9日	総合地球環境学研究所 木原先生	オンライン	学び合いの場①の登壇依頼と企画意見交換
	7	中部	5月10日	ESD/EPO 運営委員・伊藤先生	オンライン	ESD/EPO 運営委員会第1回会議の事前打合せ
	8	福井	5月12日	PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	面談	PF 事業の打合せ、評価指標の打合せ
	9	福井	5月18日	勝山ジオパーク	面談	ESD ダイアログ打合せ
	10	福井	5月18日	大野市	面談	学び合いの場②打合せ

	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
11	福井	5月18日	坂井市	面談	学び合いの場②打合せ
12	愛知	5月23日	アスケット	面談	インターン受け入れ打合せ
13	長野	5月26日	諏訪広域脱炭素イノベーション協議会	面談	地域循環共生圏フォーラム等についての打合せ
14	長野	5月27日	PF 大町(荒山林業)	面談	PF 事業の打合せ
15	愛知	5月30日	愛知県自然環境課、中部地方環境事務所	面談	森里川海業務の打合せ
16	中部	5月30日	中部地方環境事務所資源循環課	面談	資源循環の取組の情報交換
17	愛知	6月1日	藤前干潟を守る会、名古屋市環境企画課	面談	講演ワークショップ打合せ
18	石川	6月1日	PF 七尾(ななお SDGs スイッチ)	面談	連絡会議に出席
19	福井	6月9日	勝山市	オンライン	ESD ダイアログ打合せ
20	福井	6月18日	PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	面談	PF 団体主催エコツアー検証イベントに参加
21	福井	6月22日	勝山市	面談	ESD ダイアログ打合せ
22	愛知	6月30日	岡崎市、岡崎商工会議所	面談	講演依頼打合せ
23	長野	7月12日	長野県 NPO センター	面談	協働取組実践活動業務打合せ
24	長野	7月13日	諏訪広域脱炭素イノベーション協議会	面談	地域循環共生圏フォーラムについての打合せ
25	長野	7月19日	諏訪広域脱炭素イノベーション協議会	オンライン	地域循環共生圏フォーラムについての打合せ
26	長野	7月20日	PF 大町(荒山林業)	面談	PF 事業の打合せ
27	福井	7月28日	PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	面談	PF 事業の打合せ
28	長野	7月31日	飯田市ゼロカーボン推進室他	面談	地域自治と SDGs について意見交換
29	長野	8月5日	諏訪広域脱炭素イノベーション協議会	オンライン	地域循環共生圏フォーラムについての打合せ
30	中部	8月18日	東京大学/江守先生、他	オンライン	学び合い①の打合せ
31	中部	8月22日	名古屋大学/杉山先生、他	オンライン	学び合い②の打合せ
32	中部	8月30日	中部地方環境事務所 自然統括(企画官)	面談	森里川海ネットワーク形成会合の打合せ
33	石川	8月31日	PF 七尾(ななお SDGs スイッチ)	面談	PF 事業の打合せ
34	愛知	9月2日	なごや環境大学、中部地方環境事務所	オンライン	環境白書を読む会の打合せ
35	長野	9月5日	長野 NPO センター	オンライン	芋井地区見える化 P 分析打合せ
36	長野	9月7日	PF 大町(荒山林業)、長野県北アルプス地域振興局林務課	面談	PF 事業中間共有会(エクスカージョン等)についての打合せ
37	福井	9月12日	元・福井県自然環境課長、PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	面談	丹南エリアの若手活動主体についての情報交換
38	三重	9月21日	尾鷲市(おわせ SEA モデル協議会)	面談	PS 基盤強化:尾鷲会合の企画打合せ
39	石川	9月22日	PF 七尾(ななお SDGs スイッチ)	面談	PF 事業 SH ミーティング
40	福井	9月27日	大野市くらし環境部環境水循環課	面談	学び合いプロジェクト実践セミナー打合せ
41	福井	9月27日	勝山市商工文化課エコジオパーク推進係	面談	ダイアログ打合せ
42	福井	9月27日	PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	面談	PF 事業の打合せ
43	中部	9月29日	中部地方環境事務所 自然統括(企画官)	面談	森里川海ネットワーク形成会合の打合せ
44	愛知	10月3日	豊田市環境政策課	面談	脱炭素ワークショップ企画打合せ
45	長野	10月4日	PF 小布施(スマートテロワール協会)	面談	PS 基盤強化:小布施会合の企画打合せ
46	愛知	10月18日	誠信高校	面談	環境講座の打合せ
47	中部	10月20日	中部地方環境事務所	オンライン	脱炭素セミナー開催企画の打合せ
48	三重	10月21日	尾鷲市(おわせ SEA モデル協議会)	面談	PS 基盤強化イベント打合せ
49	福井	10月27日	PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	面談	PF 事業の打合せ
50	中部	11月7日	中部地方環境事務所 自然統括(企画官)	オンライン	11/8OECM 情報交換会の事前打合せ
51	中部	11月11日	ESD ダイアログ登壇者、関係者	オンライン	11/26-27ESD ダイアログの事前打合せ
52	中部	11月14日	ESD ダイアログ登壇者、関係者	オンライン	11/26-27ESD ダイアログの事前打合せ
53	中部	11月14日	実践セミナーWS 関係者	オンライン	実践セミナーWS 打合せ
54	愛知	11月14日	日進高校	面談	高校カリキュラム意見交換
55	中部	11月15日	中部地方環境事務所 自然統括(企画官)	オンライン	1/25OECM フォーラムの打合せ
56	中部	11月16日	中部地方環境事務所	オンライン	脱炭素セミナー開催企画の打合せ
57	長野	11月19日	諏訪市文化センター	面談	11/23 諏訪フォーラムの会場との打合せ
58	愛知	12月7日	愛知県環境局環境政策部自然環境課	面談	自治体職員研修会相談対応
59	中部	12月12日	中部地方環境事務所 自然統括(企画官)	オンライン	OECM フォーラムの打合せ
60	福井	12月12日	PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	面談	PF 事業、PS 基盤強化会合の打合せ
61	石川	12月12日	PF 七尾(ななお SDGs スイッチ)	面談	PF 事業の打合せ
62	愛知	12月13日	日進高校	面談	高校カリキュラム意見交換
63	中部	12月21日	中部地方環境事務所	面談	脱炭素セミナー(東海)の打合せ
64	三重	12月23日	おわせ SEA モデル協議会(尾鷲市、中部電力、尾鷲商工会議所)	面談	PS 基盤強化:尾鷲会合打合せ
65	三重	12月26日	いなべ市企画部政策課	面談	SDGs 学生サミット登壇依頼打合せ
66	福井	12月26日	さばえ SDGs 推進センター	面談	SDGs 学生サミット登壇依頼打合せ
67	長野	12月27日	大町市企画財政課	面談	SDGs 学生サミット登壇依頼打合せ
68	長野	12月27日	PF 大町(荒山林業)	面談	年末挨拶、スケジュール確認、意見交換
69	中部	1月4日	中部地方環境事務所	面談	脱炭素セミナー(東海)の打合せ
70	中部	1月10日	信州大学学生発表グループ	オンライン	学生サミット学生発表グループ事前会合:信州大学
71	中部	1月10日	富山大学学生発表グループ	オンライン	学生サミット学生発表グループ事前会合:富山大学
72	中部	1月10日	静岡大学学生発表グループ	オンライン	学生サミット学生発表グループ事前会合:静岡大学
73	中部	1月10日	岐阜大学学生発表グループ	オンライン	学生サミット学生発表グループ事前会合:岐阜大学

	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
74	愛知	1月10日	名古屋市上下水道局経営企画課	面談	計画中の次年度シンポジウムについて意見交換
75	その他	1月11日	地方ESD活動支援センター有志	オンライン	学び合いP可視化お話しプロットMTG
76	中部	1月12日	ESD/EPO運営委員 伊藤先生	オンライン	ESD/EPO運営委員会第2回会議の事前打合せ
77	中部	1月12日	中部地方環境事務所 自然統括(企画官)	オンライン	OECMフォーラムの打合せ
78	愛知	1月16日	名古屋市上下水道局経営企画課	面談	計画中の次年度シンポジウムについて意見交換
79	中部	1月16日	金沢星陵大学学生発表グループ	オンライン	学生サミット事前会合:金沢星陵大学
80	中部	1月17日	愛知教育大学学生発表グループ	オンライン	学生サミット事前会合:愛知教育大学
81	中部	1月17日	松本大学学生発表グループ	オンライン	学生サミット学生発表グループ事前会合:松本大学
82	福井	1月18日	日本政策金融公庫武生支店	面談	PS基盤強化:丹南会合の登壇依頼と打合せ
83	福井	1月18日	PF丹南(ローカルSDクリエーション)	面談	PF事業SHミーティング
84	中部	1月30日	学生サミットディスカッションファシリテーター	オンライン	学生サミットディスカッション打合せ
85	愛知	1月30日	名古屋市環境企画課	面談	プロポーザル委員派遣と評価方法打合せ
86	長野	2月6日	PF大町(荒山林業)	オンライン	PF事業の打合せ
87	石川	2月8日	ななおSDGsスイッチ	オンライン	PF事業の打合せ
88	福井	2月8日	PF丹南(ローカルSDクリエーション)	オンライン	PF事業の打合せ
89	中部	2月9日	日本環境NPOネットワーク東海・北信越ブロック	面談	情報交換・ヒアリング
90	愛知	2月13日	愛知県東浦町立緒川小学校	その他	学校参観、取材と意見交換
91	愛知	2月14日	愛知県東浦町立緒川小学校	面談	教職員ヒアリング
92	愛知	2月14日	愛知教育大学	面談	ESD専門家ヒアリング
93	長野	2月19日	松本大学	面談	教職員ヒアリング
94	富山	2月24日	PEC富山	その他	行動変容ヒアリング
95	福井	2月24日	アルマス・バイオコスモス研究所	オンライン	行動変容ヒアリング
96	中部	2月24日	中部地方環境事務所	面談	脱炭素セミナー(東海)の打合せ
97	中部	3月1日	脱炭素セミナー(東海)のファシリテーター 杉山先生(名古屋大学特任教授)	オンライン	脱炭素セミナー(東海)の打合せ
98	中部	3月7日	脱炭素セミナー(信州)のファシリテーター 中島先生(信州大学特任教授)	オンライン	脱炭素セミナー(信州)の打合せ
99	愛知	3月17日	名古屋市環境局環境企画課	面談	環境配慮行動促進事業の企画提案に対する評価委員の依頼

## ウ 定例報告

- 前項の対話の構築等に関わる審議会・委員会・検討会・会議等（他の団体が主体のもの）への EPO 中部による出席状況や相談対応状況のほか、EPO 施設の運営・利用状況等については、毎月、中部地方環境事務所へ提出、報告を行った。

## (3) 施設の維持・管理

### ア オフィスの防火・防災管理及び解錠・施錠管理

- 防火・防災管理については、法規定に則り、2018 年度に常勤スタッフが「防火・防災管理者」講習を受講した上で消防計画書等を作成の上、管轄消防署への届出を行った。
- 防火・防災に関わる身のまわりのチェックを、定期的に（週2回程度）実施しているほか、関係書類等を「防火管理台帳」で保管し、各種届出等関係書類は適宜、中部地方環境事務所へも提示・確認を行っている。
- ビル内全テナントを対象にした防火・防災検査が7月22日に実施され、ビル管理会社を通して、中部地方環境事務所による記名済みの検査結果書類を8月29日付で消防署へ提出し、受理された。
- いずれの関係書類等も「防火管理台帳」による保管を行っており、また、各種届出等関係書類は、中部地方環境事務所へも提示・確認を行っている。

## 【防火・防災管理点検結果報告書】

防火対象物点検結果報告書		令和 4年 8月 29日	
名古屋市中消防署長 殿		届出者	
住 所 名古屋市中区三の丸2-5-2		住 所 名古屋市中区三の丸2-5-2	
中部地方環境事務所		中部地方環境事務所	
氏 名 総務課長 中島 靖史		氏 名 総務課長 中島 靖史	
電話番号 052-955-2130		電話番号 052-955-2130	
下記のとおり防火対象物の点検を実施したので、消防法第8条の2の2第1項の規定に基づき報告します。			
記			
所在地	名古屋市中区錦二丁目4番3号		
名称	錦パークビル		
用途	複合用途		
構造・規模	耐火造 地上 22階 地下 4階	令別表第一(16項イ)	
床面積	3,335.78㎡	延べ面積	27,227.54㎡
点検実施日	令和 4年 7月 22日		
点検票	別添のとおり		
消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 第1号 <input type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
住所	名古屋市中区錦二丁目90番地		
氏名	渡邊 岳成 (能美防災株式会社 中部支社: 052-589-3249)		
免状	講習機関名	免状交付年月日	免状交付番号
	講習機関名	平成30年12月4日	第441600203号
	再講習受講年月日		
	※受付欄	※経過欄	※備考

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用の欄は、当該規定が適用される場合は「有」の口に点を記入し、適用されない場合は「無」の口に点を記入すること。なお、「有」の場合は、回項各号のうち適用される規定の口に点を記入すること。  
 3 ※印の欄は、記入しないこと。

## イ 施設・設備の維持管理

- EPO 中部施設の今年度の開館状況、来館件数とメール・電話による問合せ件数等は、次の通りであった。

### 【施設の運用状況・使用状況等】

	業務実施 日数・計 (日)	開館日数・ 計(日)	来館者数・計(人)		来館件数・計		メール・電話による問 合せ件数(件)		スタッフ体制・計	
			日平均 (人/日)	日平均 (人/日)	日平均 (件/日)	日平均 (人/日)				
4月	21	21	17	0.8	11	0.5	15	0.8	64	3.0
5月	22	19	4	0.2	4	0.2	19	1.0	68	3.1
6月	23	22	12	0.5	8	0.4	19	0.9	73	3.2
7月	23	20	15	0.8	10	0.5	12	0.6	69	3.0
8月	21	18	9	0.5	6	0.3	5	0.3	59	2.8
9月	25	20	4	0.2	2	0.1	19	1.0	65	2.6
10月	20	20	11	0.6	6	0.3	11	0.6	63	3.2
11月	26	20	5	0.3	4	0.2	16	0.8	82	3.2
12月	21	18	17	0.9	8	0.4	16	0.9	61	2.9
1月	22	20	22	1.1	8	0.4	22	1.2	72	3.3
2月	23	20	18	0.9	8	0.4	13	0.7	66	2.9
3月	15	13	5	0.4	4	0.3	33	2.5	48	3.2
計	262	231	139	0.6	79	0.3	200	0.9	790	3.4

※「3月」は3月20日時点で集計を行った数値。

【（参考）前年度・2021年度の実績】

	業務実施日数・計(日)	開館日数・計(日)	来館者数・計(人)		来館件数・計		メール・電話による問合せ件数(件)		スタッフ体制・計	
				日平均(人/日)		日平均(人/日)		日平均(件/日)		日平均(人/日)
4月	21	21	15	0.7	6	0.3	11	0.5	65	3.1
5月	18	18	7	0.4	5	0.3	10	0.6	66	3.7
6月	24	22	10	0.5	6	0.3	13	0.6	76	3.2
7月	23	21	10	0.5	7	0.3	8	0.4	77	3.3
8月	19	17	9	0.5	5	0.3	14	0.8	54	2.8
9月	22	20	4	0.2	3	0.2	14	0.7	69	3.1
10月	23	21	15	0.7	8	0.4	8	0.4	71	3.1
11月	23	20	28	1.4	25	1.3	12	0.6	68	3.0
12月	23	18	14	0.8	8	0.4	11	0.6	69	3.0
1月	21	19	14	0.7	10	0.5	23	1.2	62	3.0
2月	21	18	14	0.8	6	0.3	16	0.9	79	3.8
3月	22	22	14	0.6	9	0.4	13	0.6	70	3.2
計	260	237	154	0.6	98	0.4	153	0.6	826	3.5

## ウ オフィスの運営

- オフィスの運営及び業務実施に必要な機材・消耗品等を揃え、その使用料の支払、EPO 中部及び中部地方 ESD センターの HP・メールアドレス・固定 IP の維持管理費用の支払等、維持管理に必要な事務を適宜実施した。



## 4 協働取組の促進のための業務

### (1) 地元ネットワークを活用した協働取組の推進（地域循環共生圏フォーラムの開催）

#### ①イベント名

地域循環共生圏フォーラム in SUWA  
「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」



#### ②日時

- 2022年11月23日（水）13:00～17:00

#### ③開催方法・会場

- 開催方法：ハイブリッド
  - オンライン：YouTube ライブ配信
  - 開催会場：諏訪市文化センター（長野県諏訪市）

#### ④主催等

- 主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）
- 共催：一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会
- 後援：長野県、茅野市、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、富士見町、原村、八十二銀行、諏訪信用金庫、諏訪商工会議所

#### ⑤参加者

- 58名
  - 会場 37（登壇者・事務局・関係者含む）
  - YouTube 視聴 21（ユニーク視聴者数）

#### ⑥プログラム

##### 第一部

- ごあいさつ
- 講演「森里海の旅-いのちと水の巡り」  
京都大学名誉教授 田中 克 氏
- 講演「未来の子供たちにすてきなバトンを手渡したい！-沖永良部島から」  
地球村研究室代表、東北大学名誉教授、SuMP0 理事長 石田 秀輝 氏
- 取組発表  
一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会 代表理事 元木 誠 氏  
株式会社八十二銀行 企画部サステナビリティ統括室長 中林 武 氏  
東急リゾーツ&ステイ株式会社 徳田 圭太 氏
- まとめ：長野県環境部次長 真関 隆 氏

##### 第二部

- ワークショップ「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみ ビジョンを考える」  
ファシリテーター：EPO 中部
- 講評・まとめ

## ⑦開催案内チラシ

開催日時:

2022年11月23日(水・祝)13:00~17:00

会場:

諏訪市文化センター・第2集会室

(長野県諏訪市湖岸通り5-12-18)

Googleマップ:<https://goo.gl/maps/XCkwwvLLoeXVtHP6>

オンライン視聴:

第1部のみYouTube配信あり

※会場参加、オンライン視聴ともに  
要・事前申込となっています。

参加申込フォーム

<https://forms.gle/dbWJjQQhPGTSiwBj7> →

WEB [epo-chubu.jp](https://www.epo-chubu.jp)



@EPOchubu



Eメールで参加申込の場合

宛先: [info@epo-chubu.jp](mailto:info@epo-chubu.jp)

①氏名(ふりがな)、②連絡先(メールアドレスと電話番号)、③ご所属先、④参加方法(会場参加、または、オンライン視聴のどちらか)を記載して、「件名:1123フォーラム」で11月16日(水)までに送信願います。



## 地域循環共生圏フォーラム in SUWA 諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン

### 第1部 13:00~開会/オンライン配信あり

【ごあいさつ】 環境省中部地方環境事務所環境対策課

【講演】 「森里海」の旅ーいのちと水の巡り

講師: 田中 克 氏 (京都大学名誉教授)

【講演】 未来の子供たちにすてきなバトンを手渡したい!ー沖永良部島からー

講師: 石田 秀輝 氏 (地球村研究室代表、東北大学名誉教授、SuMPO理事長)

【地域の取組発表①】 一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会 代表理事 元木 誠 氏

【地域の取組発表②】 株式会社八十二銀行 企画部サステナビリティ統括室長 中林 武 氏

【地域の取組発表③】 東急リゾーツ&ステイ株式会社 資産企画統括部 徳田 圭太 氏

【第1部のまとめ】 長野県環境部次長 真関 隆 氏

### 第2部 15:05~開始/会場参加のみ

【ワークショップ】 諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョンを考える

ファシリテーター: 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

【講評】 田中 克 氏 (京都大学名誉教授)

石田 秀輝 氏 (地球村研究室代表、東北大学名誉教授、SuMPO理事長)

【まとめ/今後に向けて】

元木 誠 氏 (一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会代表理事)

主催: 環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

共催: 一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会

後援: 長野県、茅野市、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、富士見町、原村、八十二銀行、諏訪信用金庫、諏訪商工会議所

【お願い】新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力願います。会場参加は原則、長野県内の在住者・通勤者、及び活動団体の方のみとさせていただきます。また、事前の参加申込と、ご来場時のマスク着用が必須となります。開催日当日、発熱のある方や体調の悪い方は来場をお控えください(その場合の不参加のご連絡は不要です)。

## (2) 協働コーディネーターと連携した実践的取組

(※連携した長野県 NPO センターの実施報告書を掲載。)

- 長野県は平成 30 年 6 月から「SDGs 未来都市」として、SDGs の達成に向けた主な取組をまとめた計画を策定、実行している。学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」を掲げ、ステークホルダーが主体的に学び、協働しながら地域の課題解決に取り組み、多様な地域の個性を活かす自立・分散型社会をめざしている。
- これまでに、全国に先駆けて SDGs 推進企業登録制度や信州環境カレッジを立ち上げるなど SDGs に向けアクションする主体の育成等に取り組んできている。今後は一層、その主体がパートナーシップを組んで、具体的な地域づくりのプロジェクトを県下各地で促進していく必要がある。
- 上記の長野県における背景を踏まえて、EPO 中部と協働コーディネーター・山室秀俊氏（特定非営利活動法人長野県 NPO センター）との共催により、以下の事業を長野市芋井小学校及び芋井地区住民自治協議会（いもいりビングらぼ）との協働で実施した。

## ア 信州地域 SDGs 講座 「災害に強い地域づくり」

### (ア) 開催日時

- 2022 年 11 月 5 日（土）10：00～15：00 開催

### (イ) 目的

- 長野市芋井地区は中山間地域に位置し、少子高齢化や地域人口の減少、生活スタイルの多様化など環境は大きく変化する中で、自治会活動、市民活動等のあり方を見直し、住民自身も「未来を変える力」が求められている。
- 同地区では、「いもいりビングらぼ」をベースに、住民だけでなく地区内で事業活動を行う団体や大学生など幅広い参加者を募り、多様な視点で持続可能な地域の実現を体験的に学び、「実験」する場を提供し、地域コミュニティレベルでの“地域循環共生圏”の構築を目指している。
- 今回の講座は、近年頻発する災害に対して平時からしっかり備えるために開催した。

### (ウ) 午前の部(10:00～12:00)：「たのしいぼうさい」 in 芋井小学校(芋井小学校との協働事業)

参加者 親子 8 組(大人 8 人+11 人)ほか大人 6 人

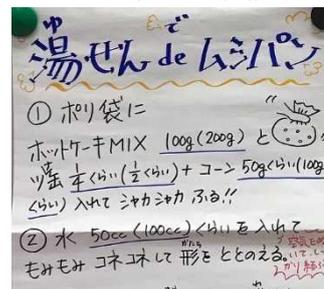
楽しく防災について学び、災害への意識を向ける体験企画を実施した。

#### ①【ぼうさい工作】ペットボトルランタンづくり(講師・長野市災害ボランティア委員会)

- 停電時に家にあるもの(ペットボトル)で簡単に灯りをとることができるツール。ペットボトルと、100 円均一ショップで買える小型の懐中電灯を使い、子どもたちが自由にシールなどでデコレーションして作成。ペットボトルそのものと中に入れた水の反射で、懐中電灯だけよりも周囲が明るくなる。

#### ②【備蓄ツッキング】蒸しパンとじゃがりこポテトサラダづくり(講師・長野市災害ボランティア委員会)

- 普段から賞味期限の長い乾物や缶詰などをローリングストックとして使いまわすことが災害時の備えになることから、それらの食材をうまく使って料理をするレシピを紹介。実際に作ってみるワークショップを実施。1 家族 1 つずつ鍋とカ



セットコンロを持参してもらって、ホットケーキミックスとツナ缶、コーン缶を使って湯せんでつくる蒸しパンと、そのお湯を再利用してじゃがりこ(じゃがいものスナック菓子)をポテトサラダに。

### ③【カードゲーム「なまずの学校」】(講師・長野県NPOセンター)

- NPO法人プラス・アーツが監修した防災啓発ゲーム「なまずの学校」は、地震などの災害で発生する様々なトラブルを紙芝居形式で出題(全18問)し、トラブルを解決するのにもっともふさわしいと思う「なまずカード(アイテムカード)」を出してもらい得点を競うゲーム。今回は家族ごとにチームを組んでもらい、点数を競ってもらいました。子どもたちなりの視点での回答に大人も新たな発見があり、親子や学校などでの実施が効果的。



### ④所感

- 親子で参加してもらったことで、帰宅後も家族で防災について話し合うきっかけとしてもらいたい。また、普段の生活の中に防災のエッセンスを取り入れることで、災害時に落ち着いて行動できたり、普段と変わらず楽しく過ごせる工夫をすることで、必要以上に気持ちが落ち込まずに対応できる。
- 会場が小学校という、災害時にも地域のかなめとなる場であったこともよかったと思う。また、持続可能な地域に学校は欠かせない存在であると改めて確認できた。



楽しいがイッパイ! みんなで来てね!

## たのしいぼうさい

### 11月5日開催

とき AM10:00~12:00

ところ 芋井小学校

持ち物: カセットコンロ・鍋と平皿(どちらも直径約20センチ)

**カードゲーム**  
**「なまずの学校」**  
地震にあったときどうする? クイズで学びます

**ぼうさい工作**  
停電したとき、避難所で使えるペットボトルランタンづくり

**オフグリッド発電**  
実験: ソーラーパネルで発電した電気を使って見る

**備蓄ツキイング**  
いざというときもカセットコンロで食事づくり

主催/ 芋井小学校  
環境省中部環境パートナーシップオフィス・長野県NPOセンター

## (エ) 午後の部(13:00~15:00)信州ローカルSDGs勉強会「災害に強い地域づくり」

参加者 16人

長野市内他地区の先進事例から学ぶとともに、災害に備えて普段から自分たちが主体的に取り組んでいくことについて、意見交換を行った。

### ①事例提供「被災経験からの防災キャンプ」

豊野地区住民自治協議会女性部会（発表者：藤澤 けさ子 様）

- 長野市豊野地区では、2019年台風19号災害で被災した1年後から、女性部会が中心となって防災イベントにアウトドアの技術やツールを活かしたイベントを開催。住民だけでなく、地域内外のさまざまなボランティア団体や学校などと協働して様々なプログラムを提供。住民が多数参加し防災意識を高めている。

### ②事例提供「子どもたち自身が身を守れるように」

真島だんごむしカフェ（発表者：亘 みどり 様）

- 長野市真島地区は千曲川と犀川に隣接する地区で、洪水被害の危険度が高い地区。2018年まで慶應義塾大学の大木聖子教授が「命を守るための防災教育」を地区内の真島小学校で実施。その後保護者たちでこの学びを継続させようと「真島だんごむしカフェ」が立ち上がった。避難所となる体育館での防災カフェの開催など積極的に活動。現在は地区内のイベントなどで、防災啓発の取組を行っている。



### ③事例提供「オフグリッドを生活に取り入れる」

いもいりビングらぼ

- いもいりビングらぼでは、メンバーで将来どんな地域にしたいか考えたところ、再生可能エネルギー活用やオフグリッドなどの取組をしたいとの意見が多く出た。そこで、各家庭でも始められる簡易なソーラーパネルと蓄電池を用いたオフグリッドの小さな実験を実施している。このような取組も災害に伴う停電時に役立つこととして、地域への普及を図っている。

### ④意見交換

- ワークショップ形式でグループディスカッションを行った。

【テーマ1】自分そして地域の防災に対する意識はどこまで進んでいますか？

【テーマ2】今後、自分そして地域として、防災に関して、どのようなアクションをおこしますか？



- それぞれの活動について質疑と意見交換。特に豊野地区からは被災経験を踏まえて、被災した際の避難所での困りごとや混乱ぶり、またそれに対する被災者自らの取組などの情報提供があった。芋井地区は、急傾斜などに集落が点在し、土砂災害の危険度が高い地域である。過去数年かけてドローンを使った防災マップ作りを実施し、集落ごとに避難行動を具体的に考えるなど住民に対する意識の向上を働きかけてきた。一方で高齢化に伴い共助の機能も低下していることから、改めて自主防災の見直しが迫られている。



## ⑤所感

- 今後次世代へその意識を継承していくには、さまざまな活動をする他地区との情報交換やタイアップが必要となる。
- 今回の取組をきっかけに、地域の中で「持続可能な地域づくり」を防災という視点で進めていくことの必要性を強く感じた。
- 防災は全国のすべての地域に共通する課題なので、この事業をモデルとして、他地区への普及を積極的に進めていきたい。



# 信州ローカルSDGs 勉強会

## 災害に強い地域づくり



シモトをいつまでも暮らしやすい地域にするために！

参加費無料  
先着**30名**様  
(オンライン参加あり)

**【日時】** 11月5日(土) 13:00~15:00

**【会場】** 長野市立芋井小学校体育館  
(長野市桜600)

災害に強い地域をつくるため、楽しく取り組む防災・減災活動と太陽光やバイオマスなど、身近な再生エネルギーを平時から暮らしに取り入れるライフスタイルについて、参加者みんなで考えます。

**【事例発表】**

- ◎ アクティビティから防災を学ぶ
  - 被災経験からの防災キャンプ ~ 豊野地区住民自治協議会
  - こどもたち自身が身を守るように~真島だんごむしカフェ
- ◎ オフグリッドを生活に取り入れる
  - 里山での小さな実践~ 芋井地区住民自治協議会

主催: 環境省中部環境パートナーシップオフィス  
(特非)長野県NPOセンター

協力: 長野市立芋井小学校  
(特非)長野県NPOセンター

問い合わせ先 **TEL** 026-269-0015 **MAIL** info@npo-nagano.org

グループでのディスカッションもあり今日からできるアクションを考えます

参加申込フォーム

QRコード

## イ 信州ローカルSDGs勉強会 「学校×地域 を考えよう!!」

### (ア) 開催日時等

- 2023年2月26日(日) 13:30~15:30 (オンライン)
- いもいりビングらぼとの協働事業
- 場所:アソビーバナガノパーク(飯綱高原)
- 参加者15人

**信州ローカルSDGs勉強会**  
**IN**  
**いもいり**  
**学校×地域 を考えよう!!**

**無料**

**2月26日(日)**  
**13:30~15:30**

**場所**  
アソビーバナガノパーク  
会議室

**住所** 長野市上ヶ屋2471-79

**対象**  
芋井地区内外の関心のある方

**内容**

- 地区内の学校紹介  
芋井小学校 & グリーンヒルズ小中学校
- ワークショップ  
地域に学校があることの意味を考えよう  
地域として学校のためにできることを考えよう

主催 環境省中部環境パートナーシップオフィス  
NPO法人長野県NPOセンター  
共催 芋井地区住民自治協議会  
いもいりビングらぼ  
お問い合わせ先  
長野県NPOセンター  
TEL:026-269-0015 info@npo-nagano.org

### (イ) 目的

- 長野市芋井地区には二つの小学校がある。長野市立芋井小学校と私立グリーンヒルズ小中学校。さらに、飯綱高原地域の子どもたちは、市街地にある城山小学校に通っている。地域の子どもを地域で育てることがなかなか難しい状況下、芋井小学校は児童数の減少により昨年度から複式学級になっている。
- いもいりビングらぼでは、地区内外のメンバーが集まって地域の将来、課題などについて議論しながら、小さな実験を進めている。その中で、地域の子育て支援や教育分野に関心が高く、地域全体にも影響が大きい小学校の存続を危ぶむ声もあったことから、今回学校と地域をテーマに意見交換を企画した。

## (ウ) 事例提供

### ① 芋井小学校 伊藤昭典先生

- 複式学級については、マイナスイメージが先行しているが、実はメリットも多く、子どもたちが主体的に学ぶことができ、先生方が一人一人の子どもたちに丁寧に接していることが話された。地域住民との関わりも大切にしており、芋井甚句、そば作り、お茶のみサロンへの参加など生活に根差した地域活動を知る機会を作っている。
- また、地区外の鬼無里小学校や加茂小学校との合同授業など一定の人数で交流ができる取組もされており、特に加茂小学校は中学進学で同じ西部中学校に通うようになることから、子どもたちにとっては卒業後の安心感を得られるように工夫されている。

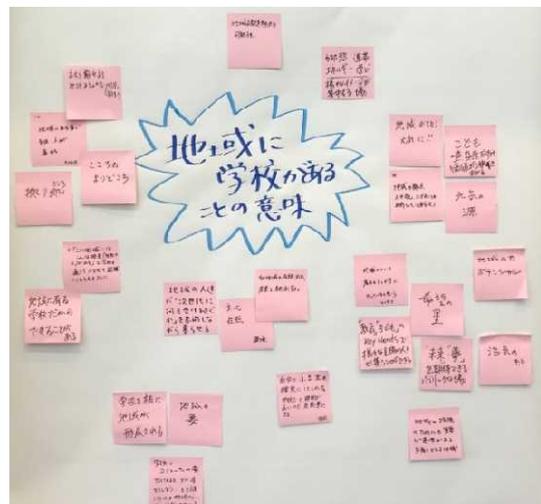


### ② グリーンヒルズ小中学校 尾形望先生

- 私立の幼小中一貫教育を進めるグリーンヒルズ小中学校(いづな学園)からは、芋井地区の飯綱高原にあり、豊かな自然を学びの資源として子どもたちが生き生きと学ぶ姿を紹介。現在小学校 25 人、中学校 7 人が学ぶ。子どもたちが主体的に自然と関わり、自ら問いを立て学んでいる。
- また、今年度からは国際バカロレア校に指定されている。その目標とする「多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成」を目指し、地域社会や国におけるグローバル化に対応する人材育成を軸に、「探求する人」「知識のある人」「考える人」「コミュニケーションができる人」「信念を持つ人」「心を開く人」「思いやりのある人」「挑戦する人」「バランスのとれた人」「振り返りができる人」の 10 の学習者像を掲げている。
- グリーンヒルズ小学校も複式学級を基本とし、授業は子どもの主体性が重視され、机に座って学ぶだけでなく、地域へ出て自然の中で学んでいる。野にある雑草を抜いてきて、観察、料理まで自分でやってみるなど五感をフル活用して自ら学ぶ姿は新鮮だった。

## (エ) 意見交換

- 学校からの事例提供を受け、参加者全員で意見交換をした。どちらの先生からも「ぜひ、地域と関わりたい」「地域のみなさんに学校を開いているので、いつでも来てもらいたい」とのラブコールもあった。



## ■テーマ1：「学校が地域にあることの意味は？」

- 「未来」「希望」「地域をつなぐ」「地域の要」などのキーワードから、地域にとって学校は子どもたちが学ぶ場だけではない住民をつなぐ役割があると考えられていることがわかる。住民からは、「今、城山小学校に通っている児童の一部だけでも芋井小学校に通ってもらうことはできないのか？行政との議論の必要性がある」と発信があり、そのためにも地域と学校がともに取り組む活動の積み重ねが大切、今後につなげたいという共通認識ができた。

## ■テーマ2「地域として、住民として学校のためにできること」

- それぞれが個人的にもっているみそ仕込みや浴衣の着付けなどのスキルを提供できるというものから、「芋井のじゃがいもを使ったレシピを考えてもらいたい」「職業体験の場を提供できる」「まずは声をかけるところから始めたい」など学校との関わりを進めていきたいというのが参加者に共通していたことから、今後も実験的な取組を進めていく。

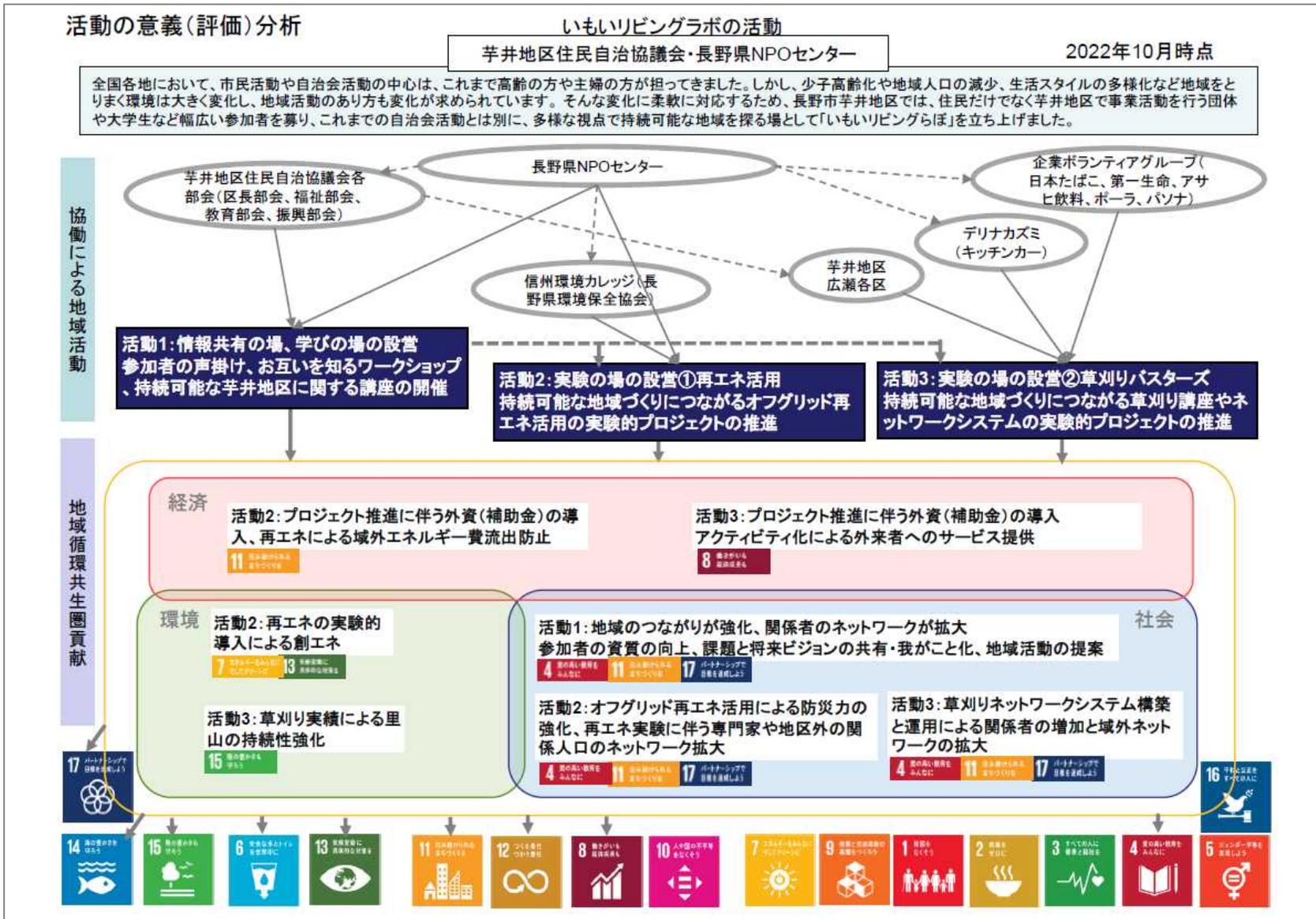


## (オ) 所感

- 地域にとって学校は子どもたちだけのためのものではなく、住民をつなぐひとつの資源となっている。また、学校にとっても地域とつながることで子どもたちの学びは深まり、子どもたちを見守る人が増える。
- 今後他の地域でも過疎化や高齢化によって児童数が減少、また公共施設マネジメントの側面からも学校は標的となっていることもあり、存続が難しくなる。しかし、学校がなくなることは移住促進や地域活性化に大きな影を落とす。
- 今、住民自身はその大切さを考え、学校とともに子どもたちの育ちを作っていくことが求められていると感じた。



## ②活動見える化チャート



# イ SDGs 未来都市3自治体（鯖江市、いなべ市、大町市）

- 2月4日開催・SDGs 学生サミットで SDGs 未来都市の取組事例を発表する福井県鯖江市、三重県いなべ市、長野県大町市の3自治体を対象に、活動見える化プログラムのチャート図を作成し、SDGs 学生サミットでチャート図を活用して3自治体の取組の概説を行った。

## (ア) 分析表

### ①福井県鯖江市：さばえ SDGs 推進センター

<p>見える化プログラム分析</p> <p>さばえSDGs推進センターの地域へのSDGs取組促進 分析案230202 対象組織：鯖江市さばえSDGs推進センター</p> <p>2018年のNY国連本部で開催された「SDGs推進会議」での鯖江市長のスピーチの際、議長であるチャドリー大使から要請を受けたことがきっかけとなり、行政、企業、国際機関等、あらゆる人々が連携し、市民一人ひとりが行動できるSDGsの拠点として、2020年9月に「さばえSDGs推進センター」が開設されました。</p> <p>受領資料を元に作成 作成：EPO中部</p> <p>1</p>	<p>分析表</p> <p>活動1 地域住民へのSDGs取組促進</p> <p>分析表</p> <p>活動2 企業へのSDGs取組促進</p> <p>分析表</p> <p>活動3 学生へのSDGs取組促進</p> <p>3</p>
<p>分析表</p> <p>活動2 企業へのSDGs取組促進</p> <p>分析表</p> <p>活動3 学生へのSDGs取組促進</p> <p>4</p>	<p>分析表</p> <p>活動3 学生へのSDGs取組促進</p> <p>分析表</p> <p>活動3 学生へのSDGs取組促進</p> <p>5</p>

### ②三重県いなべ市

<p>見える化プログラム分析</p> <p>いなべ市のSDGsの取組 分析案230202 対象組織：いなべ市役所</p> <p>新庁舎建設(2019年(令和元年)5月)に合わせ、敷地内に地域ナチュラル系コンパクト商業施設、にぎわいの森も整備。このハード整備を機に、地方創生SDGs推進のソフト事業と一体化して、体系化。</p> <p>受領資料を元に作成 作成：EPO中部</p> <p>6</p>	<p>分析表</p> <p>活動1 山辺の遊びをビジネス化</p> <p>分析表</p> <p>活動1 山辺の遊びをビジネス化</p> <p>8</p>
--	--

**分析表**

**活動2**  
モバイルヒットプロ  
ジェクト

活動内容	幅広い年代層に合わせた商品開発・販促活動の推進
活動目的	幅広い年代層に合わせた商品開発・販促活動の推進
活動内容	幅広い年代層に合わせた商品開発・販促活動の推進
活動目的	幅広い年代層に合わせた商品開発・販促活動の推進
活動内容	幅広い年代層に合わせた商品開発・販促活動の推進
活動目的	幅広い年代層に合わせた商品開発・販促活動の推進

9

**分析表**

**活動3**  
地域資源有効活用  
による商品開発

活動内容	地域資源の有効活用による商品開発
活動目的	地域資源の有効活用による商品開発
活動内容	地域資源の有効活用による商品開発
活動目的	地域資源の有効活用による商品開発
活動内容	地域資源の有効活用による商品開発
活動目的	地域資源の有効活用による商品開発

10

**分析表**

**活動4**  
フェアトレード推進  
とエシカル消費の  
啓発

活動内容	フェアトレード商品の販売促進とエシカル消費の啓発
活動目的	フェアトレード商品の販売促進とエシカル消費の啓発
活動内容	フェアトレード商品の販売促進とエシカル消費の啓発
活動目的	フェアトレード商品の販売促進とエシカル消費の啓発
活動内容	フェアトレード商品の販売促進とエシカル消費の啓発
活動目的	フェアトレード商品の販売促進とエシカル消費の啓発

11

**分析表**

**活動5**  
市民参加型の妄想  
会議、構想会議を  
開催

活動内容	市民参加型の妄想会議、構想会議の開催
活動目的	市民参加型の妄想会議、構想会議の開催
活動内容	市民参加型の妄想会議、構想会議の開催
活動目的	市民参加型の妄想会議、構想会議の開催
活動内容	市民参加型の妄想会議、構想会議の開催
活動目的	市民参加型の妄想会議、構想会議の開催

12

**③長野県大町市**

**見える化プログラム分析**

水が生まれる信濃おおまち  
分析案230202  
対象組織：長野県大町市

地方都市にとって最大の課題である「人口減少の克服」をテーマとして、本市の至高の地域資源である「水」資源に着目し再構築により、新たな観光商品や地域ブランド商品、環境保全活動の達成により「水」に関わる「ひと、しごと」を主役にした戦略的プロモーションによる関係人口づくりから誘客や購買促進を図るとともに、産学官金連携により「水が生まれる信濃おおまち」を目指すこととしました。

受領資料を元に作成  
作成：EPO中部

13

**分析表**

**活動1**  
エネルギー

活動内容	エネルギーに関する取り組みの推進
活動目的	エネルギーに関する取り組みの推進
活動内容	エネルギーに関する取り組みの推進
活動目的	エネルギーに関する取り組みの推進
活動内容	エネルギーに関する取り組みの推進
活動目的	エネルギーに関する取り組みの推進

15

**分析表**

**活動2**  
サステナブルツー  
リズム

活動内容	サステナブルツーリズムの推進
活動目的	サステナブルツーリズムの推進
活動内容	サステナブルツーリズムの推進
活動目的	サステナブルツーリズムの推進
活動内容	サステナブルツーリズムの推進
活動目的	サステナブルツーリズムの推進

16

**分析表**

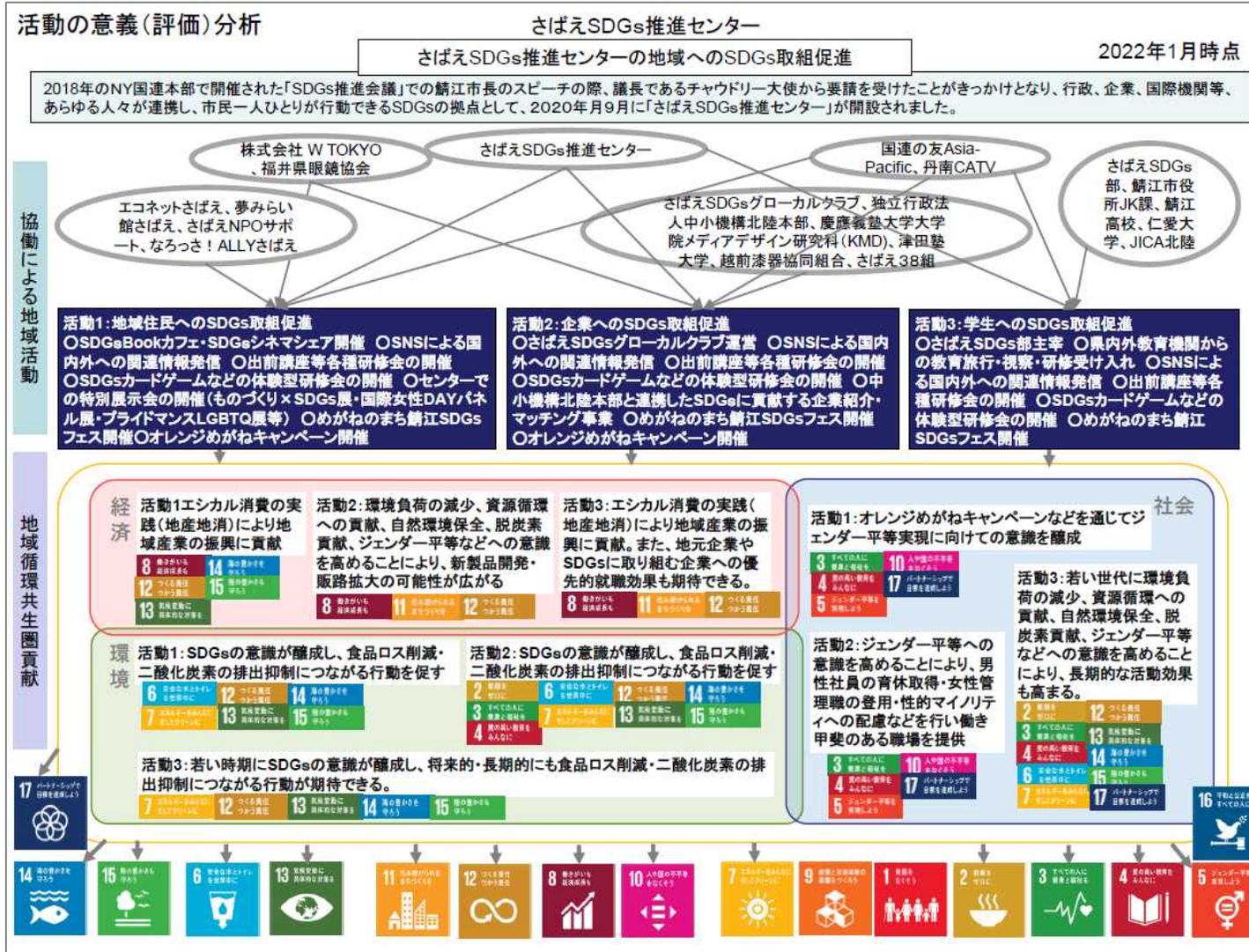
**活動3**  
地域ブランド振興

活動内容	地域ブランド振興の推進
活動目的	地域ブランド振興の推進
活動内容	地域ブランド振興の推進
活動目的	地域ブランド振興の推進
活動内容	地域ブランド振興の推進
活動目的	地域ブランド振興の推進

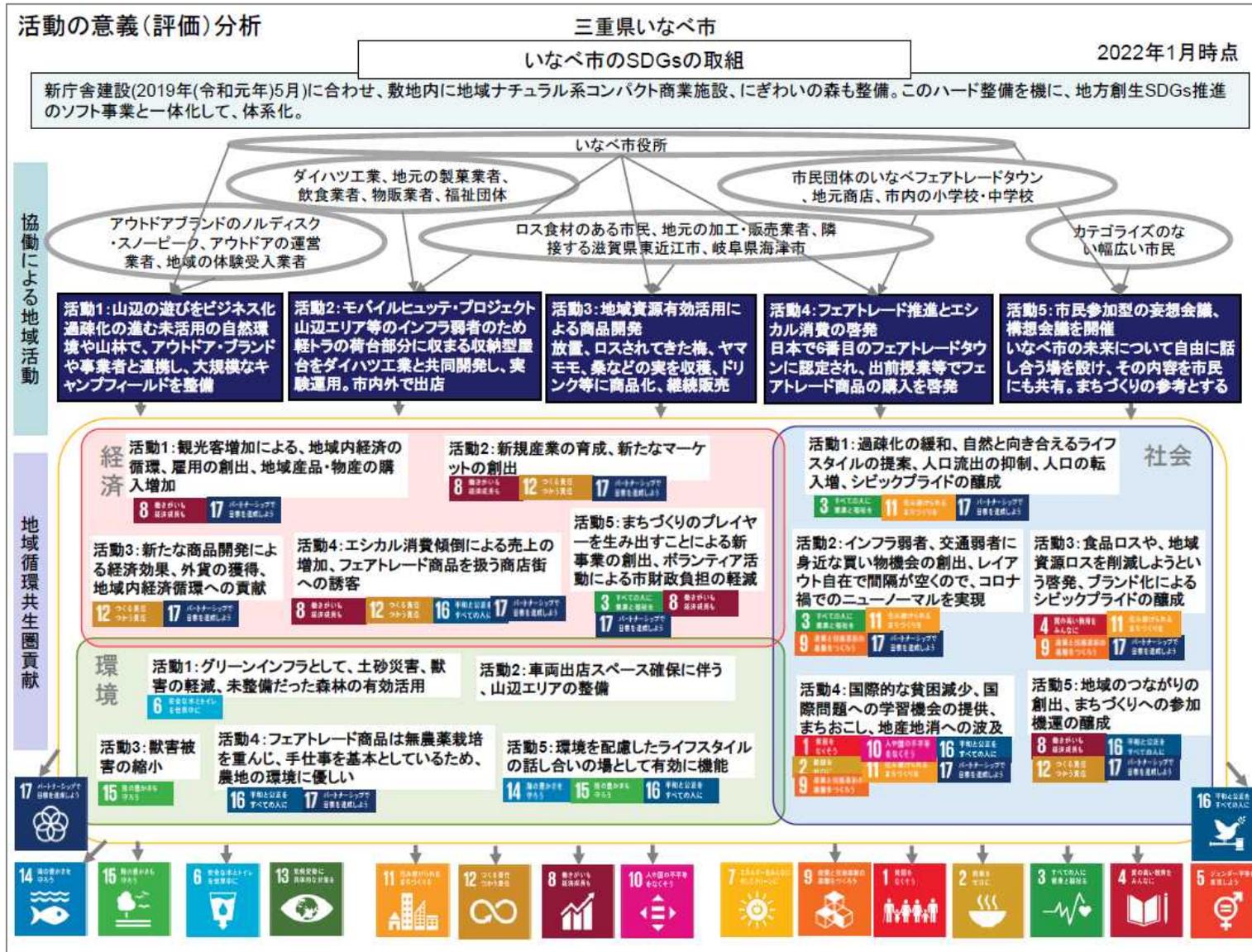
17

# (イ) 活動見える化チャート

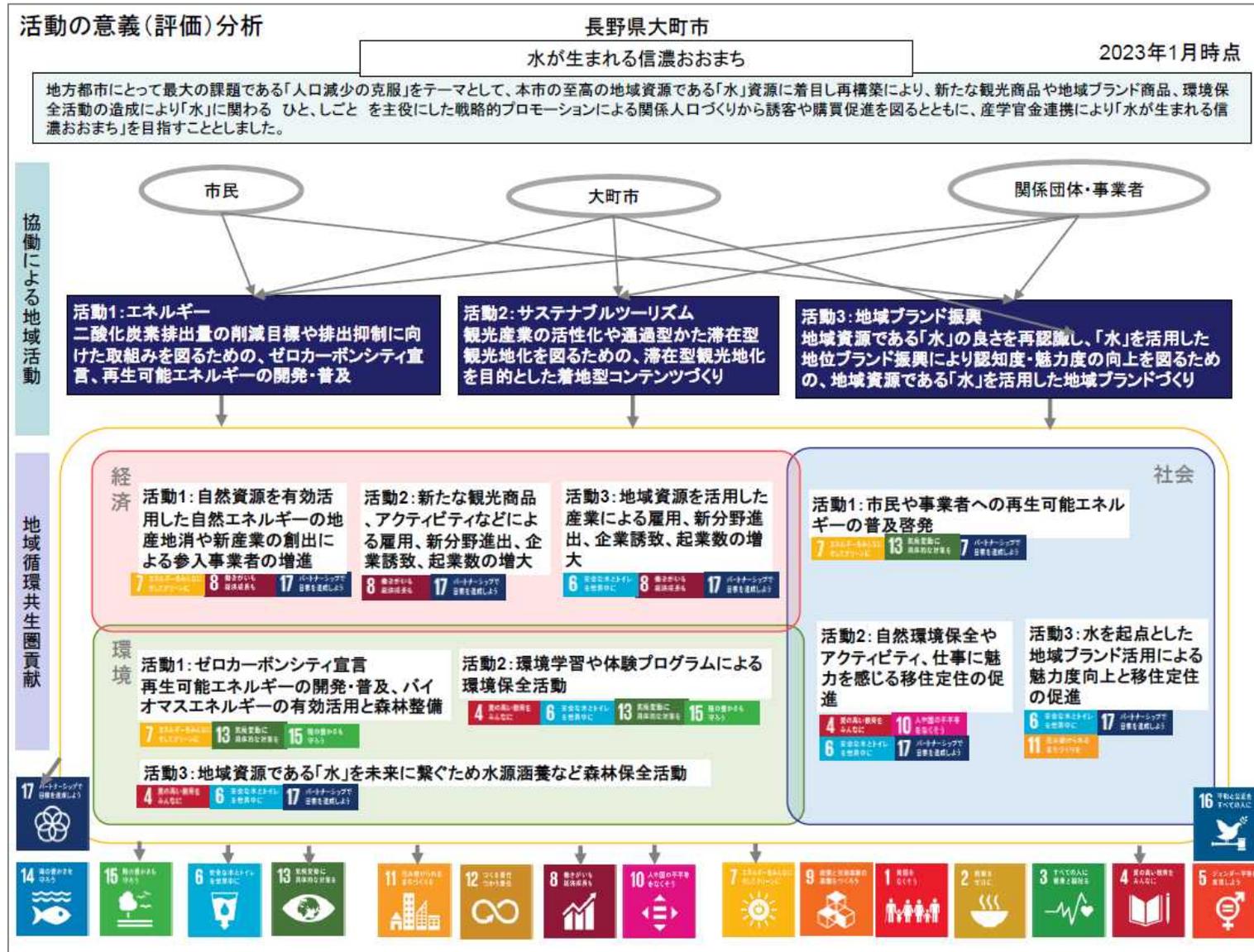
## ①福井県鯖江市：さばえ SDGs 推進センター



②三重県いなべ市



③長野県大町市



## (4) ローカル SDGs/地域循環共生圏のためのグループワーキング

### ① イベント名

ローカル SDGs/地域循環共生圏セミナー

「SDGs17 ゴールの紐づけの先へ あなた・地域・社会の変容に向けて」

### ② 日時

- 2022年12月15日（木）13：30～16：30

### ③ 開催方法・会場

- 開催方法：オンライン（zoom）

### ④ 主催等

- 主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）

### ⑤ 参加者

- 17名（接続数／登壇者・事務局含む）

### ⑥ プログラム

- ごあいさつ/環境省からのお知らせ 環境省中部地方環境事務所環境対策課 EPO 中部とは/本セミナーの趣旨
- 基調講演「ソーシャル・プロジェクトを成功に導く発想と技法  
～SDGsの本質に対応し「国連・ESDの10年」の経験を活かす」  
東京都市大学大学院環境情報学研究科 教授 佐藤 真久 氏
- 話題提供「SDGsの我がごと化とSDGsの指標について考えてみる」  
中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）ESD 責任者 原 理史
- ワークショップ  
「SDGs チェックリスト」を活用したローカル SDGs の我がごと化ワーキング

※ 基調講演の中で部局／分野等の横断・連携についてお話しいただくよう講師に依頼。



## ⑦開催案内チラシ

環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)主催  
ローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー@中部

# SDGs17ゴールの紐づけの先へ あなた・地域・社会の変容に向けて

開催日時:2022年12月15日(木)13:30~16:30  
zoom開催/参加費無料

### 参加申込フォーム

<https://forms.gle/b8gk3k4zAD9XTP8dA> →  
開催日の前日、申込登録したメールへzoomの  
参加URLをお送りします。



### ▶メールで参加申込の場合

宛先:info@epo-chubu.jp  
「①氏名(ふりがな)」「②連絡先(メールアドレスか電話番号)」「③ご所属先」を記載のうえ、  
「件名:1215セミナー」で12月9日までに送信願  
います。

## ONLINE SEMINAR & WORKSHOP

### 1.はじめに

ご挨拶/環境省からのお知らせ  
環境省中部地方環境事務所環境対策課  
EPO中部とは/本セミナーの趣旨  
EPO中部

### 2.基調講演

ソーシャル・プロジェクトを成功に導く発想と技法  
~SDGsの本質に対応し、「国連・ESDの10年」の経験を活かす  
東京都市大学大学院環境情報学研究科 教授 佐藤 真久 氏

### 3.話題提供

SDGsの我がごと化とSDGsの指標について考えてみる  
中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部) ESD責任者 原 理史

### 4.ワークショップ

「SDGsチェックリスト※」を活用したローカルSDGsの我がごと化ワーキング

### ※「SDGチェックリスト」について

- ・「SDGチェックリスト」は、事業や活動をSDGs17ゴールに関連づけて気付きを得られる、チェックリスト型のシートで、中部地方ESD活動支援センター(EPO中部)が独自に作成したツールです。
- ・本セミナー参加の際にはぜひ「SDGsチェックリスト」をお手元にご準備ください。
- ・なお、「SDGsチェックリスト」は、参加申込フォーム等に記載のURLから入手(DL)できます。
- ・EPO中部ウェブサイトでも公開しており、右のQRコードかURLから参照いただけます。



<https://chubu.esdcenter.jp/2020/04/10/2474.html>